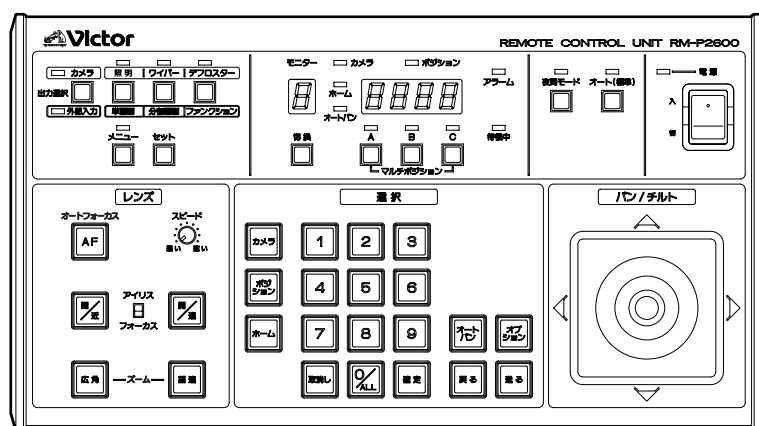


リモートコントロールユニット

型名 **RM-P2600**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
 ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」
 をお読みのうえ、正しくお使いください。
 特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお
 使いください。
 お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要
 なときお読みください。
 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際
 は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造
 番号と保証書に記載されている製造番号が一致している
 かお確かめください。

私たちは環境・資源を大切にしています。
 この取扱説明書は再生紙（100%）を使用しています。

はじめに

このたびは リモートコントロールユニット RM-P2600を お買い上げいただき ありがとうございます。

正しくお使いいただくためのご注意

- 強い電波や磁気の影響
ラジオやテレビの送信アンテナに近い所、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは画像にノイズが入ることがあります。
- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- ご使用にならないときは、節電のため電源スイッチを切ってください。

特長

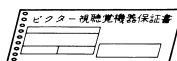
本機とシステムコントロールユニット(SW-2600)およびコンビネーションカメラ(TK-S576B、TK-S655など)と組み合わせた場合の特長です。

- CCUを使用せず、TK-S576B、TK-S655、TK-S850が接続可能
カメラコントロールユニット(CCU)を使わずにコンビネーションカメラ(TK-S576B、TK-S655)、カラービデオカメラ(TK-S850)が最大9台まで接続できます。
- 本機3台、モニター3台接続可能
 - ・ 本機を最大3台まで接続することができ、3か所から制御がおこなえます。
 - ・ モニターアウトを3つ持つので、3通りの映像信号出力で確認できます。
- マルチポジション
1つのポジションに最大3台のカメラを割り付けることで、3方向から監視することができ、死角がなくなります。
- 最大900ポジションまで設定可能
全部で300ポジションの設定ができます。
さらにマルチポジション機能により、1つのポジションに3台のカメラを割り付け、最大900ポジションを設定することができます。

付属品・添付物



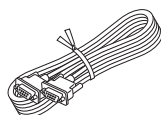
取扱説明書
(本書)



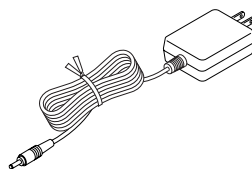
保証書



ビクターサービス窓口案内



接続ケーブル
(SW-2600との接続用)



ACアダプター



ケーブル
クランプ



スクリュー
(M3×8mm)

(ACアダプター用)

目次

はじめに

正しくお使いいただくためのご注意	2
特長	2
付属品・添付物	2
目次	3
各部の名称とはたらき	4

操 作

操作の前に	7
手動操作	
・カメラを選択する	8
・ホームポジションを選択する	10
・プリセットポジションを選択する	12
・見たい映像の画角を調節をする	14
オート動作	
・シーケンス動作	16
・オートパン動作	18
その他の機能	
・夜間モード	19
・マルチポジションの選択	20
・モニターの切り換え	21
・アラーム動作・解除について	22
・アラーム制御パターンについて	24
・フレームスイッチャー(SW-F510)の操作	25

設 定

メニュー画面の流れ	28
メニューの基本操作	
・メニュー画面を起動させる	30
・設定値を変える	32
・設定手順	33
システム設定(初期設定)	34
・モニター 1 の出力設定(モニター出力設定をモニター 1 に設定時)	38
・モニター 2、モニター 3 の出力設定(モニター出力設定をモニター 2、モニター 3 に設定時)	39
・シリアル ①(リモコン 1)出力設定	40
・シリアル ② 接続機器設定	40
・シリアル ③ 接続機器設定	41
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定(カメラ側のメニュー)	42
ホームポジション設定	43
・ホームポジション設定画面	45
プリセットポジション設定	46
・ポジションヘッダーの設定	50
・プリセットポジションの登録	54
データ I/O 端子設定	55
・端子 [A] 設定	55
・端子 [B] 設定	56
・端子 [B] アラーム入力設定	56
設定時のメッセージ表示について	57
キーロック(誤操作防止)	58
設定切換スイッチ	59

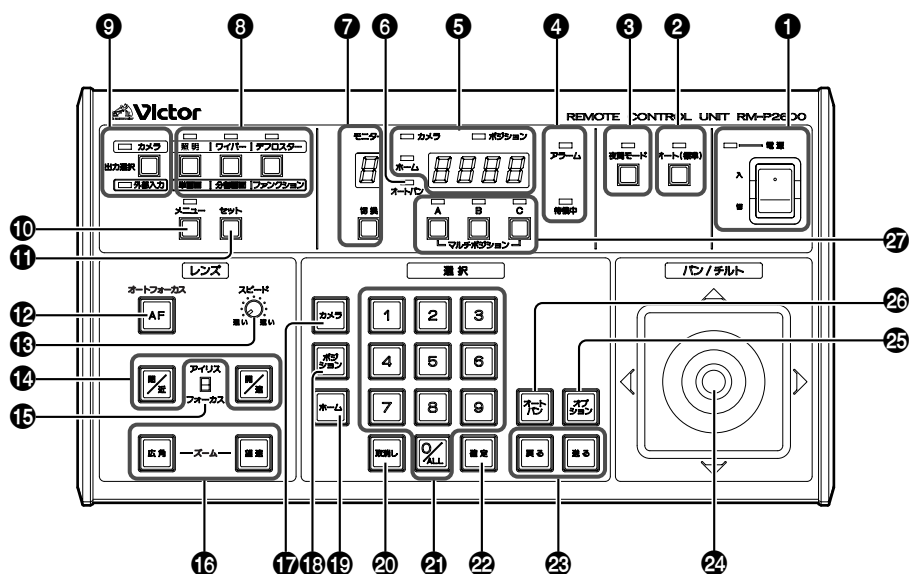
そ の 他

故障かな? と思ったら	60
保証とアフターサービス	62
仕様	63

接続については、システムコントロールユニット(SW-2600)の取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

■ コントロールパネル



①【電源】電源スイッチおよび表示灯

電源入/切スイッチです。“入”側にすると表示灯が点灯します。

②【オート(標準)】オート(標準)状態設定ボタンおよび表示灯

オート(標準)状態にする場合に押します。オート(標準)状態の設定は個々のカメラにより異なります。ONの時には表示灯が点灯します。(☞16ページ)

③【夜間モード】夜間モード設定ボタンおよび表示灯

夜間モードにする場合押します。夜間モードの設定は接続のカメラの種類により異なります。ONの時には表示灯が点灯します。(☞19ページ)

- 夜間モードの設定によって、カメラの夜間標準動作を連動することができます。(☞37ページ)
- 夜間モードの「入力デバイス」が“ナイトイン端子”に設定されている場合、押しても夜間モードにはなりません。(☞36ページ)

④【アラーム】アラーム表示灯

SW-2600 からアラーム入力があると表示灯が点灯、点滅します。(☞22ページ)

- 点灯：リモコンで操作中のカメラにアラーム入力があった場合。
- 点滅：それ以外のカメラにアラーム入力があった場合。

⑤【待機中】待機中表示灯

- 点灯：SW-2600の背面TO RM-P2600①端子に接続されたRM-P2600を使用しメニュー操作をおこなっている時にRM-P2600②、RM-P2600③で点灯し、操作不可を表示します。また、リモコンでの操作ができない時点灯します。

⑥カメラ/ポジション表示部

ポジション表示灯が点灯しているときはポジション番号が表示され、カメラ/ホーム表示灯が点灯しているときは、カメラ番号が表示されています。

●【ポジション】ポジション表示灯

ポジションが選択されているときに点灯します。

●【カメラ】カメラ表示灯

カメラが選択されているとき点灯します。

●【ホーム】ホーム表示灯

ホームポジションのカメラが選択されているとき点灯します。

⑦【オートパン】オートパン動作表示灯

カメラ/ポジション表示部⑥に表示されているカメラが、オートパン動作しているとき点灯します。

⑧【モニター/切換】モニター表示部およびモニター切換ボタン

操作しているモニター出力の番号を表示します。リモコン1で複数のモニターを設定している場合、ボタンを押すとモニターが切り換わります。複数のRM-P2600を使用している場合は、モニター切換ボタンを押すと、操作可能なモニター出力の番号が表示されます。(☞21ページ)

⑨【デフロスター/ファンクション】デフロスター操作、ファンクションボタンおよび表示灯

【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【ファンクション】ボタンとして機能します。

⑩【ワイパー/分割画面】ワイパー操作、分割画面ボタンおよび表示灯

【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【分割画面】ボタンとして機能します。

⑪【照明/単画面】照明操作、単画面ボタンおよび表示灯

【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【単画面】ボタンとして機能します。

メモ

- デフロスター/ワイパー/照明操作ボタンにつきましては、現在、操作可能な接続機器はありません。

⑨ [出力選択] 出力選択切換ボタンおよびカメラ / 外部入力表示灯

カメラ入力信号と外部入力信号(AUX)の切り換えをおこないます。カメラ側が点灯しているときは、選択しているカメラの映像をモニターに出力します。外部入力側が点灯しているときは、**SW-2600**の[AUX INPUT]端子に入力された映像をモニターに出力します。

SW-F510を接続したシステムの場合、このボタンを押すと、表示灯は切り換わりますが、モニター画面上の映像は外部入力映像のまま変化しません。

(☞25 ページ)

⑩ [メニュー] メニューボタンおよび表示灯

メニュー画面を表示するとき約 1 秒間押します。

メニュー画面が表示されているときは、表示灯が点灯します。

⑪ [セット] セットボタンおよび表示灯

各種設定を登録するときを押します。

⑫ [オートフォーカス(AF)] オートフォーカスボタン

ピントの自動調節をおこなう場合押します。

⑬ [スピード] スピード調節つまみ

フォーカス、ズームの動作スピードを調節するためのつまみです。動作スピードは、4 段階で調節することができます。

時計まわし : 動作スピードが速くなります。

反時計まわし : 動作スピードが遅くなります。

⑭ [アイリス(開)(閉)/フォーカス(近)(遠)]

アイリス/フォーカス操作ボタン

- ・ [アイリス/フォーカス] 切換スイッチ ⑮がアイリスに設定されている場合、レンズアイリスの操作がおこなえます。

閉 : アイリス(絞り)を閉じます。

開 : アイリス(絞り)を開きます。

- ・ [アイリス/フォーカス] 切換スイッチ ⑮がフォーカスに設定されている場合、レンズフォーカスの操作がおこなえます。

近 : 近い被写体にピントをあわせます。

遠 : 遠い被写体にピントをあわせます。

⑮ [アイリス/フォーカス] アイリス/フォーカス切換スイッチ

[アイリス(開)(閉)/フォーカス(近)(遠)] 操作ボタン ⑭で操作できる機能を切り換えます。

アイリス側 : アイリス(絞り)の操作がおこなえます。

フォーカス側 : フォーカス(ピント)の操作がおこなえます。

⑯ [ズーム(広角)(望遠)] ズーム操作ボタン

広角 : 被写体が小さくなります。

望遠 : 被写体が大きくなります。

⑰ [カメラ] カメラ設定ボタン

カメラを選択するときを押します。

⑱ [ポジション] ポジション設定ボタン

ポジション番号を選択するときを押します。

⑲ [ホーム] ホームポジション設定ボタン

ホームポジション番号を選択するときを押します。

⑳ [取消] 取消しボタン

入力した番号を [確定] ボタン ㉒ で確定する前に取り消す場合に使用します。

㉑ [O/ALL ~ 9] テンキーボタン

カメラ番号、ポジション番号を入力する場合に使用します。“O/ALL” は場合に応じて “O” または、全てを選択する “ALL” となります。

㉒ [確定] 確定ボタン

[テンキー] ボタン ㉑ で入力した番号を確定するときなどに使用します。

㉓ [戻る / 送る] 番号戻しボタン / 番号送りボタン

カメラ番号、ポジション番号を戻す(もしくは送る)場合に使用します。

㉔ [パン / チルト] パン / チルトコントロールレバー

回転台をパン(水平)チルト(垂直)に回転させ、カメラの向きを調節します。

(▲) : 回転台を上方向に動かします。

(▼) : 回転台を下方向に動かします。

(◀) : 回転台を左方向に動かします。

(▶) : 回転台を右方向に動かします。

- ・ レバーの傾斜角度によって、パン / チルト動作のスピードを 8 段階で制御することができます。(☞15 ページ)

- ・ メニュー画面表示中は項目の選択や設定値の変更をおこなうときに使用します。

㉕ [オプション] オプション操作ボタン

複数アラームが入っている状態で、アラームカメラの切り換えをおこなうときに使用します。(☞40 ページ)

㉖ [オートパン] オートパン操作ボタンおよび表示灯

このボタンを押すと、設定されたポジションを設定時間間隔で自動的にパン(水平)方向に往復あるいは回転動作します。オートトレースモードに設定されている場合は、設定されたトレース動作をおこないます。詳細はカメラの「取扱説明書」をお読みください。

㉗ [マルチポジション A、B、C] マルチポジション A、B、C 選択操作ボタンおよび表示灯

表示されているポジションが、マルチポジションに設定されている場合、表示灯が点灯します。点灯しているボタンを押すとそのカメラの映像に切り換ります。

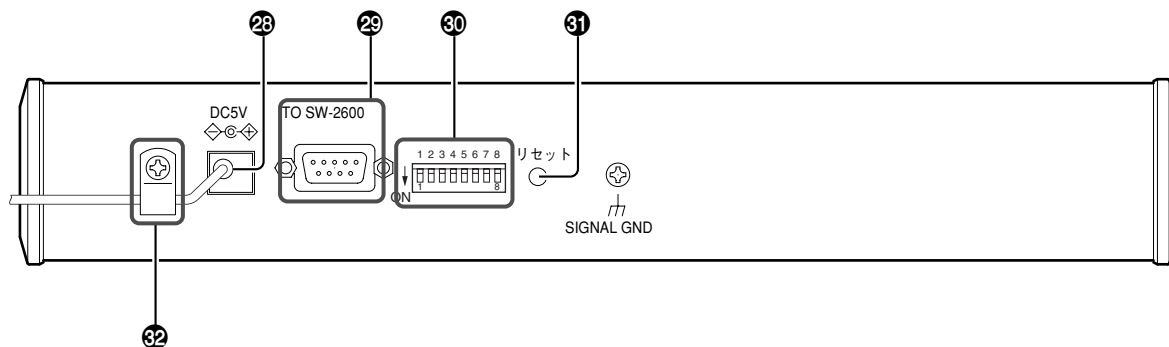
(☞20 ページ)

メモ

・ フォーカス操作ボタン ⑭、ズーム操作ボタン ⑯は、スピード調節つまみ ⑬により、動作スピードを 4 段階で調節することができます。

各部の名称とはたらき (つづき)

■ リアパネル



②⑧ [DC 5V] 電源入力端子

付属の AC アダプターから DC 電源を入力します。

②⑨ [TO SW-2600] コントロールコネクター

システムコントロールユニット [SW-2600(別売)] へ接続するコネクターです。

③⑩ 設定切換スイッチ

本機の設定を切り換えることができます。(P.59 ページ)

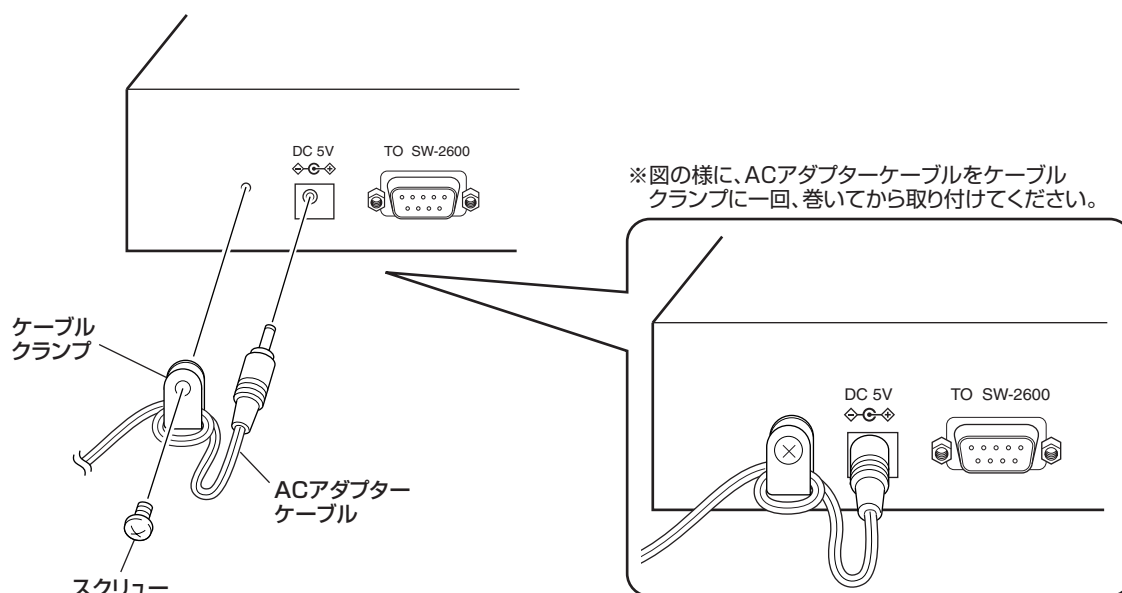
③① [リセット] リセットボタン

サービス用です。さわらないでください。

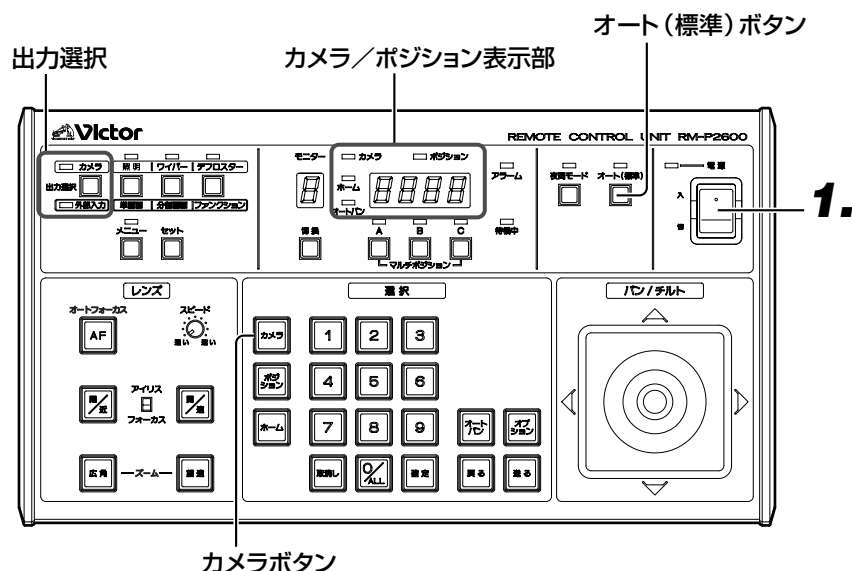
③② ケーブルクランプ、およびスクリュー

AC アダプターのケーブルを本機に固定するのに使用します。(P.6 ページ「ケーブルクランプの取り付け方」)

■ ケーブルクランプの取り付け方



操作の前に



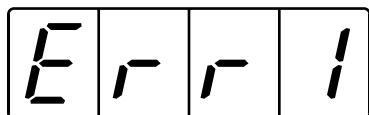
メモ

- SW-2600 システムの電源投入時「オート(標準)」表示灯が点灯し、「出力選択」は「カメラ」が選択されています。
- 本機のみ電源を再投入した場合は、電源を切る前の状態に戻ります。
- 設定切換スイッチの設定が「RS-232C」になっている場合、「カメラ/ポジション」表示部に「232C」と表示されます。

メモ

- 本機と SW-2600 との通信が、正しくおこなわれなくなった場合に「Err 1」と表示されます。接続ケーブルやシステム電源を確認してください。

(エラー表示)

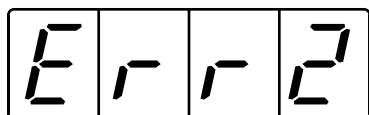


- リモートコントロールユニットの設定が実際の接続とあってない場合に「Err 2」と表示されます。

(例)

- リモコン2、リモコン3の接続とシリアル①の「使用モニター台数」項目(13 40 ページ)が重複して設定された場合。

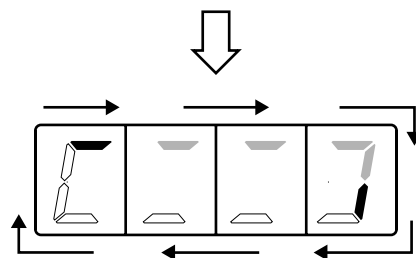
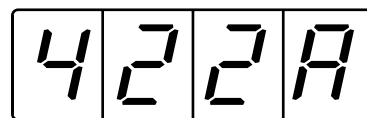
(エラー表示)



1. [電源]を入れる



- 「ピッ」とブザー音が鳴り、電源が入ります。
- 電源表示灯が点灯します。
- 「カメラ/ポジション」表示部に「422A」と表示された後、下図の様に回転します。

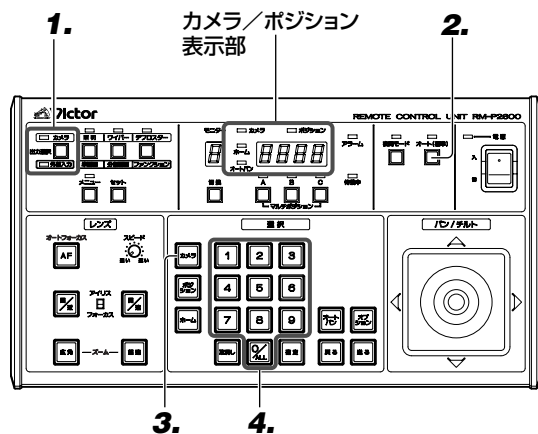


- SW-2600 との初期通信中「待機中」表示灯が点灯し、消灯後オート(標準)状態となります。

手動操作

カメラを選択する

カメラ番号を指定して、映像を確認できます。



1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認



- 電源投入時[出力選択]は、“カメラ”が選択されており、“カメラ表示灯”が点灯しています。

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

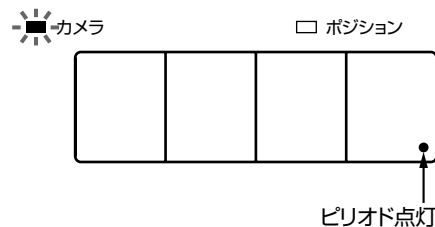


- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作(16 ページ)が解除されます。

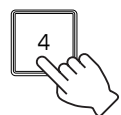
3. [カメラ]を押す



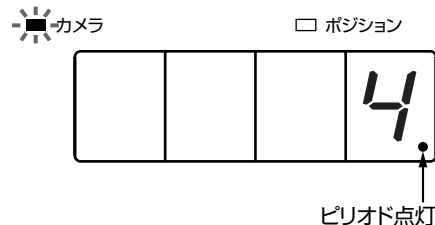
- カメラ選択モードとなり、[カメラ/ポジション]表示部にピリオドが点灯表示され、[カメラ]が点灯します。



4. カメラ番号を入力する

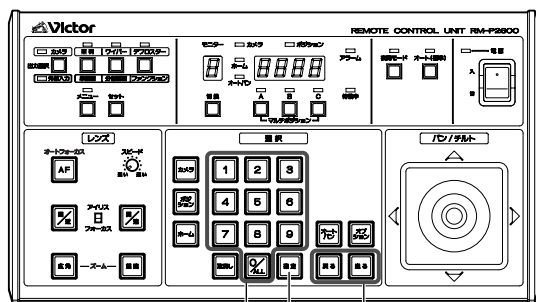


- 例)カメラ4を選択する。
- テンキー [4] を押す。
- カメラ/ポジション表示部に“4”と表示されます。



メモ

入力を間違えた場合は[取消し]を押してください。



6. 5.6. 6.

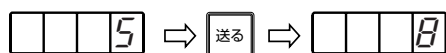
メモ

- 入力した番号のカメラがなければ、「ビッ」と音が出て 3. のカメラ番号入力待ち状態になります。

メモ

- 選択したカメラ番号の前後にカメラがない場合、[戻る]、[送る] ボタンを押すと、自動的に次のカメラ番号までとびます。

(例) カメラ5の次がカメラ8の場合



- カメラ番号の最大番号および最小番号で [戻る]、[送る] ボタンを押した時、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へとびます。

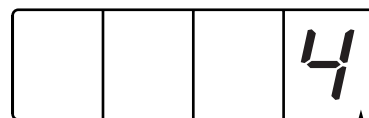
(例) カメラが 1 ～ 9 台まで登録されている場合



5. [確定] を押す



- 選択したカメラの映像に切り換わります。
- ピリオドが消灯します。



ピリオド消灯

6. 別のカメラを選ぶには

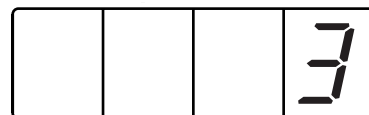
• [送る] を押す

- 次の番号のカメラ映像に切り換わります。



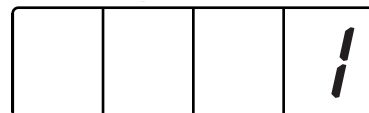
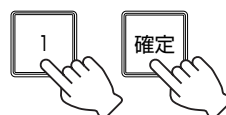
• [戻る] を押す

- 前の番号のカメラ映像に切り換わります。



• [テンキー] を押し [確定] を押す

- 入力した番号のカメラ映像に切り換わります。



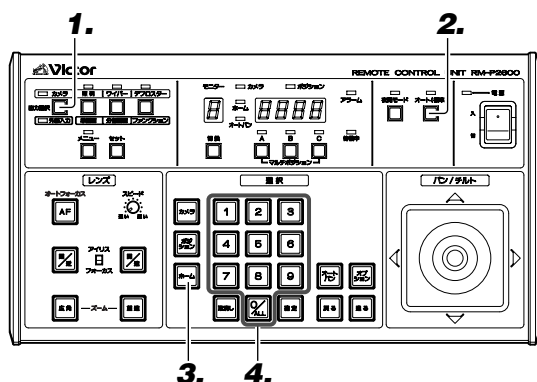
手動操作 (つづき)

ホームポジションを選択する

見たいホームポジションを選択します。(P43 ページ「ホームポジション設定」)

ホームポジションとは

各カメラにプリセットポジション(1 台につき **TK-S576B** は 255 ポジション、**TK-S655** は 63 ポジション、**TK-S850** は 2 ポジション)とは別に 1 ポジションがホームポジションとして設定されています。固定カメラの映像も選択できます。オートシーケンス(P17 ページ)でモニターに表示されている映像はホームポジションの映像です。



1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認



- 電源投入時[出力選択]は、“カメラ”が選択されており、“カメラ表示灯”が点灯しています。

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

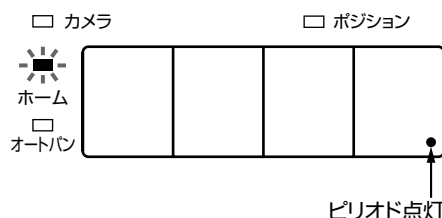


- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作が解除されます。

3. [ホーム]を押す

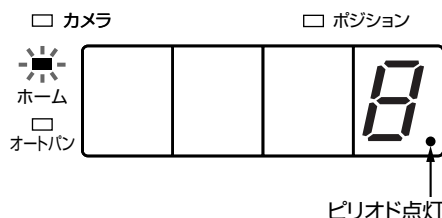
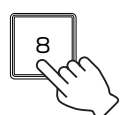


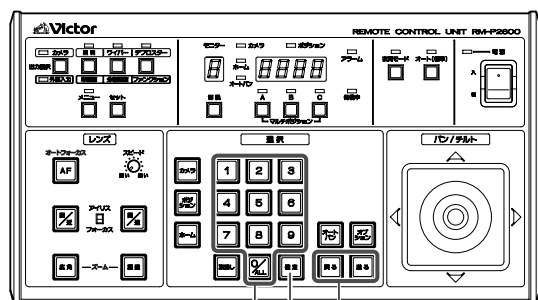
- ホームポジション番号入力待ち状態となり、ピリオドが点灯します。
- [ホーム] 表示灯が点灯します。



4. ホームポジション番号を選択する

例 1) カメラ 8 のホームポジションを選択する。
テンキー [8] を押す。





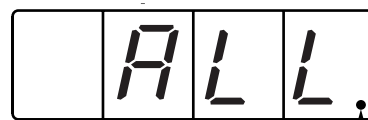
4. 5. 6.

メモ

選択したカメラ番号がない場合、「ピッ」と音がして3.のホームポジション番号入力待ち状態となります。

例2) 全てのカメラをホームポジションにする。

テンキー [0 / ALL] を押す。



ピリオド点灯

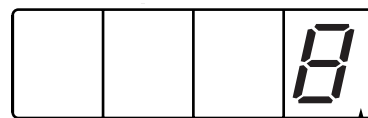
例3) 現在選択されているカメラをホームポジションにする。

手順4.をおこなわずに、手順5.に進む

5. [確定]を押す



- 選択したホームポジション番号の映像に切り換わります。
- このときピリオドが消灯します。



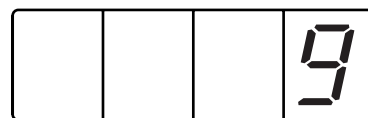
ピリオド消灯

6. 別のカメラのホームポジションを選択するには

• [送る] を押す



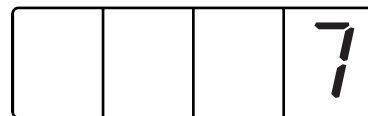
- 次の番号のカメラのホームポジションに切り換わります。



• [戻る] を押す

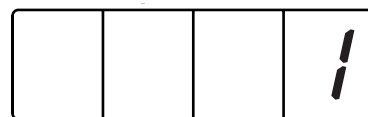
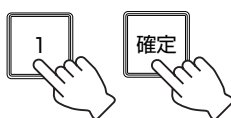


- 前の番号のカメラのホームポジションに切り換わります。



• [テンキー]を押し[確定]を押す

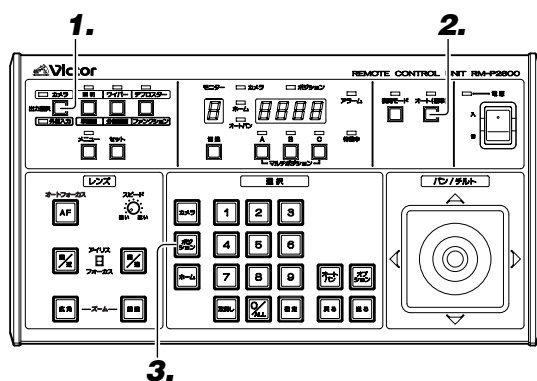
- 入力した番号のカメラのホームポジションに切り換わります。



手動操作 (つづき)

プリセットポジションを選択する

見たいプリセットポジションを選択します。(プリセットポジション設定 42 ページ)



例) 285 番のプリセットポジションを選ぶ

1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認

- 点灯 カメラ
- 電源投入時[出力選択]は、“カメラ”が選択されており、“カメラ表示灯”が点灯しています。
- 外部入力

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

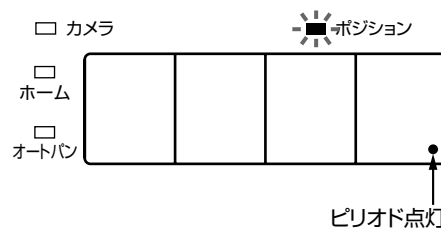
- 消灯 オート(標準)
- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作が解除されます。

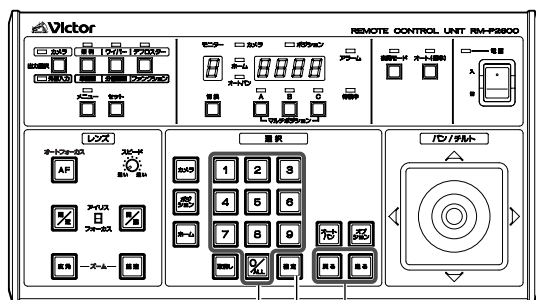
3. [ポジション]を押す

- ポジ
- プリセットポジション番号入力待ち状態となり、この時ピリオドが点灯します。
 - ポジション表示灯が点灯します。

メモ

- プリセットポジションが、全く登録されていない場合、[ポジション]ボタンを押しても、ポジション番号を入力することはできません。
- プリセットポジション番号入力待ち状態のとき、[確定] ボタンを押すと、表示可能なカメラの中で最小番号のポジションに設定されます。





4.6. 5. 6.

メモ

もし、選択した、プリセットポジションが設定されていない場合、「ピッ」と音がして、3.のプリセットポジション番号入力待ち状態となります。

メモ

• プリセットポジション番号が前後にない場合、[戻る]、[送る] ボタンを押すと、自動的に次のポジションまでとびます。

(例) 286ポジションの次が289ポジションの場合

⇒ ⇒

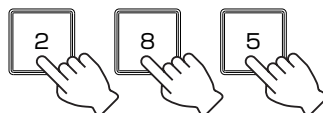
• プリセットポジション番号の最大番号および最小番号で [戻る]、[送る] ボタンを押した時、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へとびます。

(例) プリセットポジションが1～100まで登録されている場合。

⇒ ⇒
(最大番号) (最小番号)

⇒ ⇒
(最小番号) (最大番号)

4. テンキー[2]、[8]、[5]を押す



- 入力を間違えた場合は を押してください。

ピリオド点灯

5. [確定]を押す



- 選択したプリセットポジションの映像に切り換わります。
- このときピリオド消灯します。

ピリオド消灯

6. 別のポジションを選ぶには

• [送る] を押す



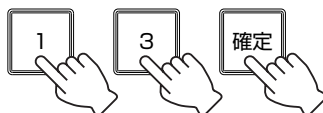
- 次のプリセットポジション番号の映像に切り換わります。

• [戻る] を押す



- 前のプリセットポジション番号の映像に切り換わります。

• [テンキー] を押し [確定] を押す

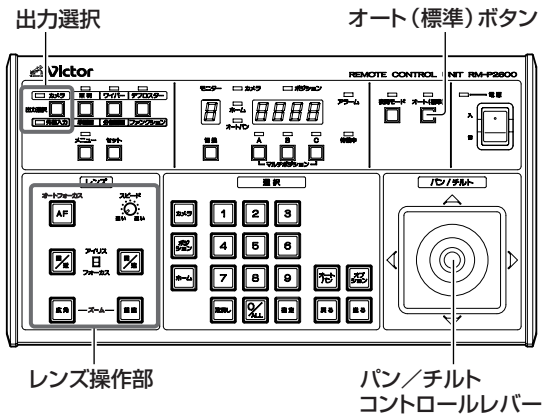


- 入力したプリセットポジション番号の映像に切り換わります。

手動操作 (つづき)

見たい映像の画角を調節する

選択したカメラのパン／チルト操作およびレンズの操作がおこなえます。



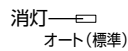
■マニュアル操作したいカメラを選択する

1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認



- 電源投入時[出力選択]は、“カメラ”が選択されており、“カメラ表示灯”が点灯しています。

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

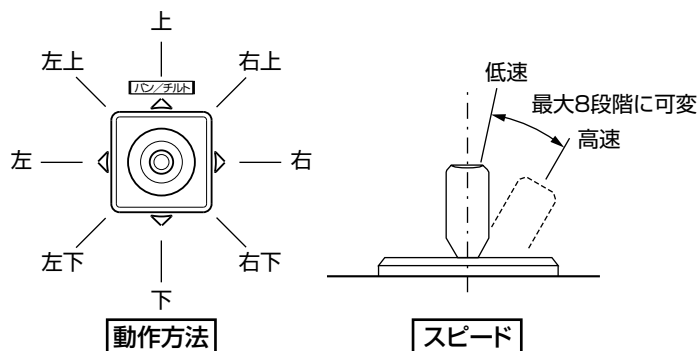


- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作が解除されます。

3. マニュアル操作したいカメラ番号、ホームポジション番号、プリセットポジション番号を選択する (☞ 8～13ページ)

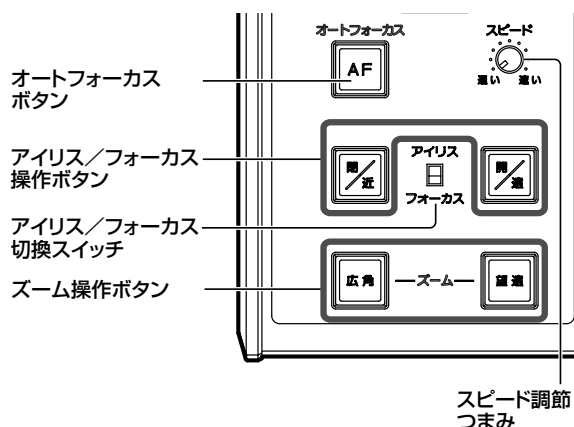
- モニター表示されている映像を手動で操作し、映像を見たい様に調節することができます。

■パン／チルトコントロールレバー操作（カメラの方向を変えます）



- [パン／チルト] コントロールレバーを、傾ける方向に応じて、カメラの回転部分が回転し、カメラの方向が変わります。
- レバーの傾きに応じて、カメラの動作スピードが8段階に可変します。

■レンズ操作



●アイリス(明るさをあわせる)



[アイリス／フォーカス] 切換スイッチをアイリス側にし、[閉]、[開] ボタンでアイリスを調節します。

【閉】：アイリス(絞り)を閉じる
【開】：アイリス(絞り)を開く

●フォーカス(ピントをあわせる)



[アイリス／フォーカス] 切換スイッチを[フォーカス] 側にし、[近]、[遠] ボタンでピントを調節します。

【近】：近い被写体にピントがあう。
【遠】：遠い被写体にピントがあう。

●ズーム(画面の大きさをあわせる)



[広角]、[望遠] ボタンでズームを調節します。

【望遠】：被写体が大きくなる。
【広角】：被写体が小さくなる。

●オートフォーカス(ピントの自動調節)



[オートフォーカス(AF)] ボタンを押して、自動でピントをあわせることができます。

メモ

フォーカス、およびズームは[スピード調節つまみ]により、動作スピードを4段階に調節することができます。

オート動作

シーケンス動作

〔オート(標準)〕ボタンを押すと、〔オート(標準)〕表示灯が点灯し、全てのカメラ、モニターの状態がオート(標準)モードになり、一定時間間隔で各カメラのホームポジションの映像を切り換えて **SW-2600** の MONITOR OUTPUT から出力します。

シーケンス動作には、オートシーケンス動作とプリセットシーケンス動作があります。(☞17、18ページ) モニター1のみ、モニター1出力設定「シーケンスタイプ」で「オートシーケンス」「プリセットシーケンス」のどちらかを設定し、切換時間の設定ができます。(☞38ページ)

モニター2、モニター3では、切換時間の設定はできますが、オートシーケンス動作のみの設定となります。

(例)カメラ1～6の場合 (プリセットシーケンスの場合は、カメラではなくポジションの映像を切り換えます。)

カメラ1



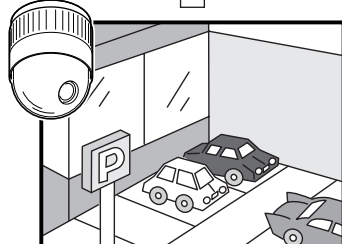
カメラ2



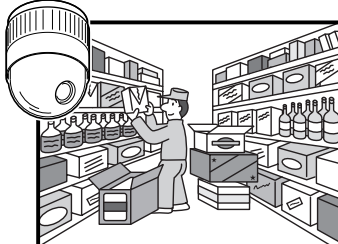
カメラ3



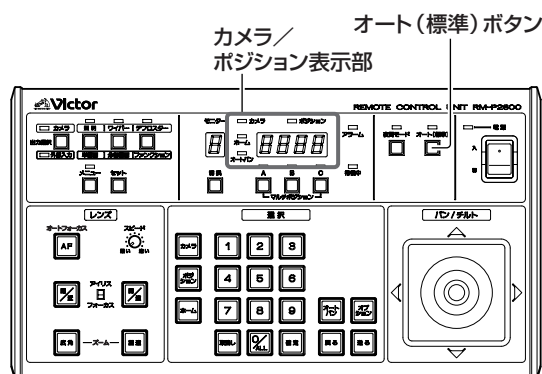
カメラ6



カメラ5



カメラ4



1. [オート(標準)]を押す



- [オート(標準)]表示灯が点灯し、シーケンス動作を開始します。
- システム設定の「カメラタイプ／標準状態」項目(☞34ページ)で標準状態が“オートパン”に設定されていると、オートパン動作(☞18ページ)しながら、シーケンス動作をします。

プリセットシーケンス(☞18ページ)で、そのカメラが選択されると、オートパン動作を停止し、決められたポジションに移動します。その場合、カメラ設定の「オートリターン動作設定」(☞35ページ)で“OFF”以外に設定していると再びオートパン動作に戻りますが、“OFF”に設定しているとオートパン動作には戻りません。

- シーケンス動作が開始され、[カメラポジション]表示部にカメラ番号が順番に表示されます。

メモ

- シーケンス動作中は、マニュアル操作(カメラ、ホームポジション、プリセットポジション選択など)をおこなうことはできません。
- [オート(標準)]ボタンをもう一度押すとシーケンス動作は止まります。モニターには、最後に切り換った時のカメラの映像が出力されます。もう一度[オート(標準)]ボタンを押すと、次のシーケンス対象のカメラ映像からシーケンス動作を再開します。
- シーケンス動作中に、メニューを起動すると、シーケンス動作は止まります。

■ オート(標準)モード時の動作

オート(標準)ボタンを入・切したときの、各モニターの動作とカメラの動作は以下の表のようになります。

リモコン名		RM-P2600-1		RM-P2600-2	RM-P2600-3
モニター端子		モニター1		モニター2	モニター3
動作開始	オート(標準)ボタン 切→入	映像出力	オートシーケンスもしくはプリセットシーケンスを開始します。 詳細はメニューで設定します。 (P38ページ)	オートシーケンスのみをおこないます。	
		カメラ制御	メニューで設定された標準状態になります。*(アラーム動作中のカメラも解除されます。)	該当するモニターが表示することのできるカメラのみ、メニューで設定されたオート(標準)モードになります。ただし、以下のカメラはオート(標準)モードにはなりません。 ・アラーム動作中のカメラ ・他のモニターにより表示されている標準状態ではないカメラ	
動作解除	オート(標準)ボタン 入→切	映像出力	標準状態が解除された時に表示していたカメラの映像を表示します。	標準状態が解除された時に表示していたカメラの映像を表示します。	
		カメラ制御	変化なし	変化なし	

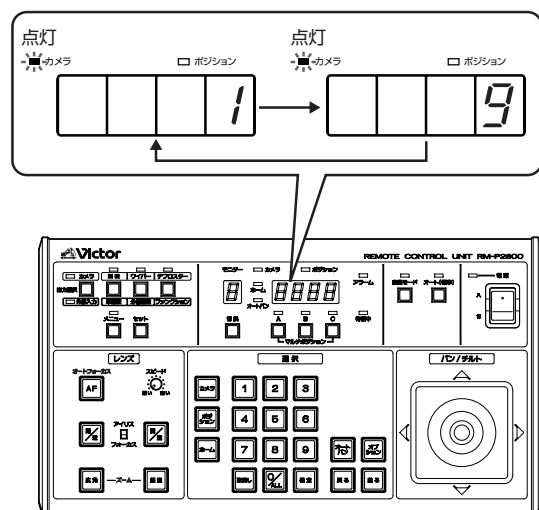
*モニター1でプリセットシーケンスをしているカメラは、標準状態になりません。

■ オートシーケンス動作

オートシーケンスとは

一定時間間隔で、接続カメラの各ホームポジションの映像(P10ページ)を切り換えて、**SW-2600**のMONITOR OUTPUTから出力します。切替時間の設定もできます。(P38、39ページ)

例) カメラ9台が接続されている場合



- 一定時間間隔で、モニターの画面が切り換わると同時に[カメラ／ポジション]表示部の表示も切り換わります。
- [カメラ／ポジション]表示部のカメラ側が点灯します。
- システム設定の「カメラタイプ／標準状態設定」項目(P34ページ)で標準状態が、「オートパン」に設定されている場合は、オートパン動作(P18ページ)しながら、「ホーム」に設定されている場合はホームポジションでオートシーケンスします。

メモ

「オートシーケンス」の詳しい設定は、システム設定項目の「モニター1の出力設定」項目(P38ページ)「モニター2、モニター3の出力設定」項目(P39ページ)をご覧ください。

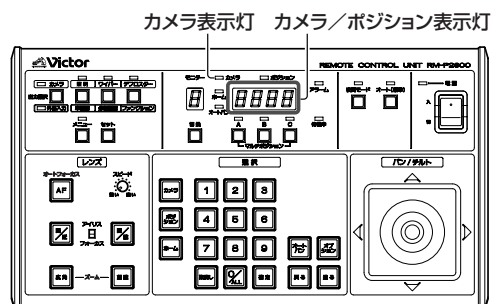
オート動作 (つづき)

シーケンス動作 (つづき)

■ プリセットシーケンス動作

プリセットシーケンスとは

一定時間間隔で、設定されているプリセットポジションの映像を切り換えて、モニターに出力します。開始プリセット番号、終了プリセット番号、切り換え時間の設定ができます。(モニター1でのみ設定可能)



メモ

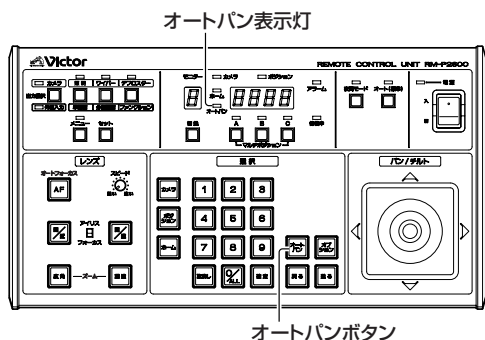
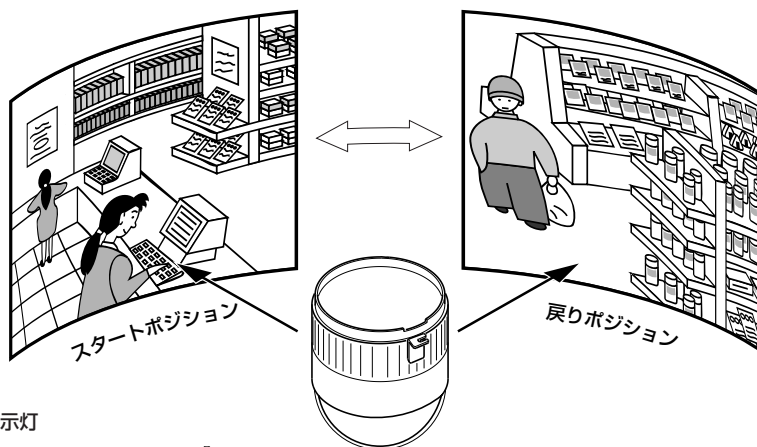
- 「プリセットシーケンス」の詳しい設定は、システム設定項目の「モニター1の出力設定」(P38ページ)をご覧ください。

- 一定時間間隔で、モニター画面の映像が切り換わります。
- カメラ/ポジション表示部のカメラ側が点灯します。
- システム設定の「カメラタイプ/標準状態設定」項目(P34ページ)で標準状態がオートパンに設定されてる場合でも、プリセットシーケンス中は「オートパン」動作しません。
- 「カメラ/ポジション」表示部には、出力されているポジションをうつしているカメラ番号が表示されます。
- プリセットシーケンスを一度解除して、もう一度再開すると、停止したときのシーケンス番号の次の番号のポジションから動作を再開します。
- プリセットシーケンス解除後は、「カメラ/ポジション」表示部にポジション番号が表示されます。

オートパン動作

あらかじめ設定されたポジション間を一定の速さでゆっくり水平方向に往復します。2つのポジション間の映像を見たいときに設定します。

スタートポジションと戻りポジションの設定は、各カメラごとに、カメラ側のメニューでおこないます。



1. [オートパン]を押す



- 「オートパン」表示灯が点灯します。
- その時点で選択されているカメラ、(もしくはポジションを映しているカメラ)がオートパン動作を開始します。

メモ

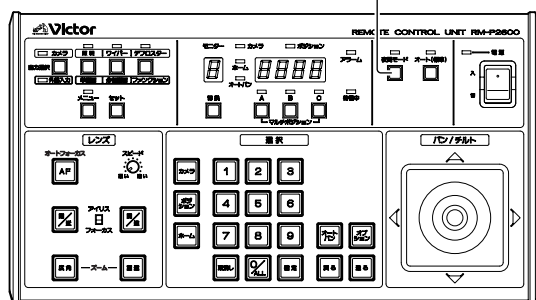
- オートパン動作の設定はカメラ側のメニューでおこないます。メニュー画面を起動させ(P30ページ)カメラメニュー設定項目でカメラ側のメニューを呼び出して設定します。接続カメラの種類によって、メニューが異なりますので詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- カメラ側のメニュー設定によって、「オートパン」の他に「オートトレース」をおこなうこともできます。詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- システム設定「カメラタイプ/標準状態設定」項目(P34ページ)で、標準状態の設定が「オートパン」に設定されている場合、オート(標準)モード時、(P17ページ)オートパン動作をしながらシーケンス動作します。

その他の機能

夜間モード

「夜間モード」ボタンをONにすると、あらかじめ夜間モードの設定をされているカメラが、夜間モードになります。

夜間モードボタン



メモ

- 夜間モードの設定はカメラ側のメニューでおこないます。メニュー画面を起動させ(☞30ページ)、カメラメニュー設定項目で、カメラ側のメニューを呼び出して設定します。接続カメラの種類によって、メニューが異なりますので詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- 夜間モード設定、「入力デバイス」項目(☞36ページ)を「ナイトイン端子」に設定した場合、「夜間モード」ボタンを押しても夜間モードにはなりません。([待機中]表示灯が、点灯し、操作できないことを示します。)その場合外部機器からの信号によって夜間モードに入ります。

■ 夜間モードにする

「夜間モード」を押す



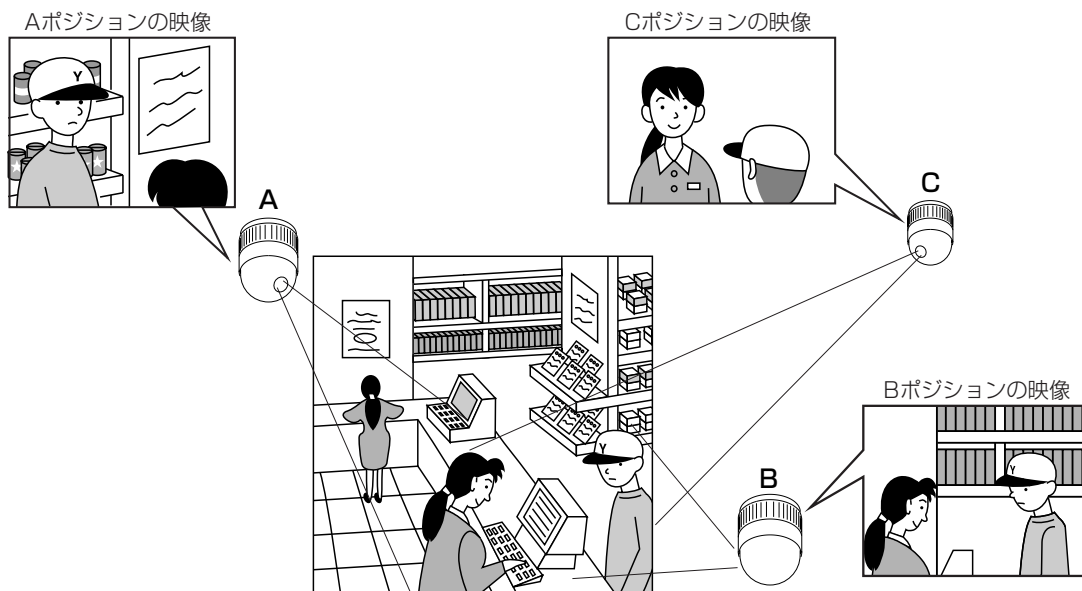
- 「夜間モード」表示灯が点灯し、約1分後に夜間モードになります。システム設定メニューの夜間モード設定、「実行ディレイタイマー設定」項目(☞37ページ)での設定が、2分の場合、2分後に夜間モードに切り換わります。
- 夜間モード設定「カメラ夜間標準動作」項目(☞37ページ)が「連動」に設定されている場合、夜間モードに入ると、システム設定の「カメラタイプ／標準状態」設定(☞34ページ)で設定された夜間標準モードになります。
- タイマー動作中は「夜間モード」ボタンが点滅します。
- 夜間モード中に「メニュー」ボタンを押すと、夜間モードが解除され、メニューに入ります。夜間モードは1度解除されると、メニューが終了しても復帰しないので、再度「夜間モード」を押してください。ただし、夜間モード設定、「入力デバイス」項目(☞36ページ)を「ナイトイン端子」に設定した場合、メニューを終了したあと、端子の状態にしたがいます。
- 夜間モードを解除する場合は、もう一度「夜間モード」ボタンを押します。

その他の機能 (つづき)

マルチポジションの選択

1つのポジションで最大3台のカメラで死角ができないよう別々の方向からとらえる事ができます。マルチポジションの設定は、プリセットポジションの登録(※52ページ)でおこないます。

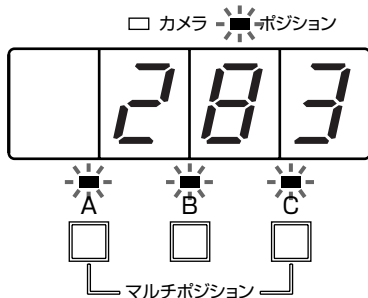
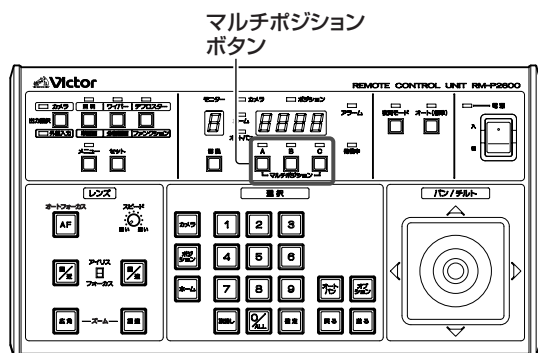
例) コンビニ店内での場合



■ マルチポジション設定がされると…

プリセットポジションを選択したとき (※12ページ)

例) 283ポジションで、A、B、Cポジションが設定されている場合



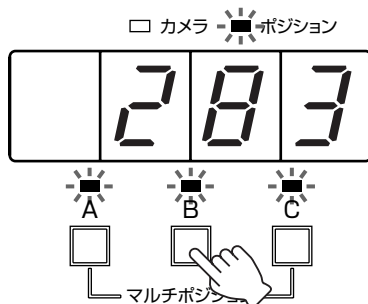
- 登録されている全ての「マルチポジション」表示灯が点灯します。
- このとき、モニターには、283ポジションのAポジションに設定されている、カメラの映像がうつります。

メモ

- マルチポジション設定(※52ページ)がされていないポジションでは、「マルチポジション」表示灯は、消灯したままです。
- リモコンで使用中のモニター上に表示できない設定になっているカメラについては、マルチポジションが設定されていても、マルチポジション表示灯は消灯したままで選択することもできません。

■ 他のポジションの映像を見るには…

「マルチポジション」BまたはCを押す



- モニターの映像が、Aポジションのカメラの映像から、Bポジション(またはCポジション)に設定されているカメラの映像に切り換わります。

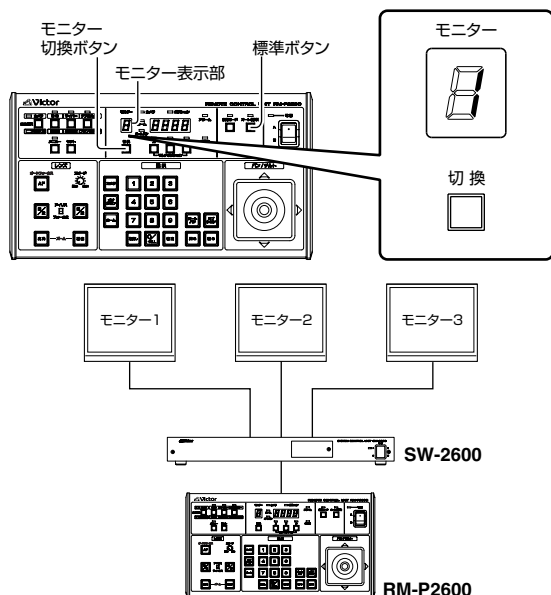
モニターの切り換え

モニター切換ボタンで、操作できるモニターの選択がおこなえます。

■ RM-P2600 1台と複数台（最大3台）のモニターが接続されたシステムの場合

操作できるモニター出力の番号が表示されます。

(モニター出力番号は **SW-2600** 背面部 MONITOR OUTPUT 端子番号に対応しています)



モニター切換ボタンを押すごとに、モニター出力番号が切り換わります。

● オート(標準)ボタン

オート(標準)ボタンでのオートシーケンスのON/OFFは、選択されたモニター番号にのみ有効で、他のモニターはON/OFFすることはできません。

● カメラの選択

選択できるカメラは各モニターごとに設定できます。

設定は、モニター出力ごとに「表示カメラ／オートシーケンス選択」項目(☞39ページ)でおこないます。ただし、モニター1はマスターモニターのため、オートシーケンスは表示の「あり」、「なし」は選択できますがカメラ選択の「あり」、「なし」は設定できません。

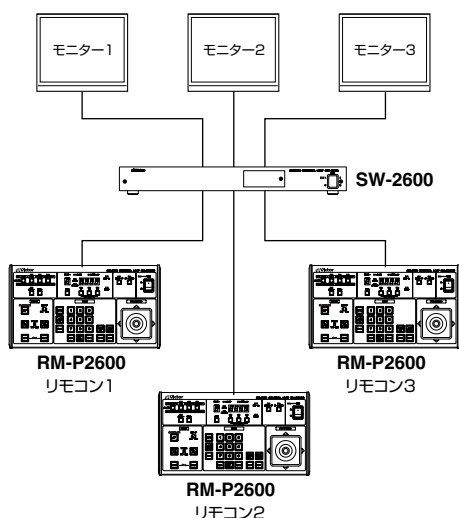
● リモコン 1

リモコン1で選択できるモニターは、システム設定画面シリアル①(リモコン1)出力設定「使用モニター台数」で設定します。(☞40ページ)

■ RM-P2600 3台と複数台（最大3台）のモニターが接続されたシステムの場合

リモコンとモニターは1対1で対応しています。(モニター2を制御できるのはリモコン2、モニター3を制御できるのはリモコン3)ただし、リモコン1のみシステム設定シリアル①(リモコン1)出力設定「使用モニター台数」項目の設定(☞40ページ)により、複数のモニターを制御することができます。リモコンとモニターを複数台接続する場合、「使用モニター台数」の設定(☞40ページ)を「1台」以外に設定すると、モニターを制御できないリモコンの「カメラ／ポジション」表示部に「Err2」と表示されます。

※各リモコンのモニター切換ボタンを押している間、操作可能なモニター番号が表示されます。



● リモコン1(SW-2600背面部 TO RM-P2600 ①に接続されたリモコン)

上図のリモコン1台のシステムと同様に、全てのモニター出力操作がおこなえます。操作できるモニターは、システム設定画面シリアル①(リモコン1)出力設定「使用モニター台数」で設定します。(☞40ページ)

● リモコン2(SW-2600背面部 TO RM-P2600 ②に接続されたリモコン)

モニター2の操作のみおこなえます。

● リモコン3(SW-2600背面部 TO RM-P2600 ③に接続されたリモコン)

モニター3の操作のみおこなえます。

※ TO RM-P2600 ③端子に本機を接続する場合、本機リアパネルの設定切換スイッチの設定が必要です。(☞59ページ)

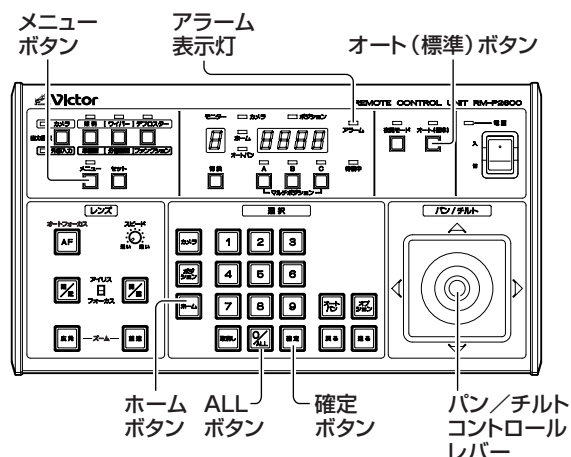
メモ

複数のリモコンで同時に操作をおこなうと、通信制御カメラなどの動作が一時的に遅くなることがありますが、故障ではありません。

その他の機能 (つづき)

アラーム動作・解除について

アラーム入力があると、アラームポジション映像に切り換わり、アラーム表示灯が点灯するなどのアラーム動作になります。



メモ

アラーム表示灯について

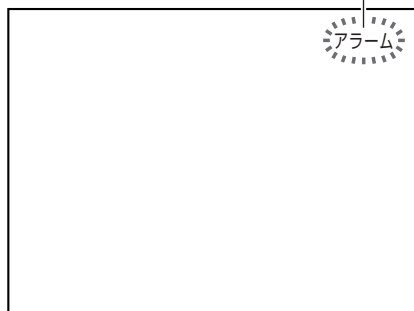
アラーム表示灯は、モニターのカメラ映像状態と一致しますが、リモコンの「カメラ/ポジション」表示部に表示される、ポジション番号とは一致しない場合があります。

- 点灯：表示中のカメラにアラームが入った時。
- 点滅：表示中のカメラが非アラーム状態で、モニター出力に表示可能なカメラにアラームが入った時。
- 消灯：モニター出力に表示可能なカメラ以外のカメラにアラームが入ったときには点滅も点灯もしません。

アラーム検索について

- システム設定の「リモコンオプションキー」項目が、「アラーム切替」に設定されていると、複数のアラームが入力した場合「オプション」ボタンを押す度に、アラームカメラの切替がおこなえます。

アラーム文字



(表示例)

メモ

- アラーム状態のカメラを表示中、(アラーム表示灯は点灯)リモコンでの「パン/チルト」操作、およびレンズ操作はできません。
- アラーム状態のカメラがあるとき(アラーム表示灯は点灯あるいは点滅)メニューの起動はできません。
- メニュー画面表示中は、アラームを受け付けません。

■ アラーム動作

登録されているプリセットポジションにアラーム入力があると、本システムは以下のアラーム動作をおこないます。

- カメラはアラーム入力のあったポジションに移動します。
- モニターの映像がアラーム動作中のカメラ映像に切り換わります。
- リモコンパネル上のアラーム表示灯が点灯します。
- 「カメラ/ポジション」表示部にアラーム入力のあったポジション番号を表示します。
- オート動作(オートシーケンス、プリセットシーケンス、オートパン)はアラーム動作中停止し、「オート(標準)」表示灯、「オートパン」表示灯は消灯します。
- カメラ側で設定されたアラーム文字をモニター上に表示します。(アラーム文字の表示は、接続カメラの種類によって異なります。)
- 出力選択が「外部入力」になっている場合、「カメラ」に切り換わります。

アラーム入力時のモニター1 制御はメニュー設定により、以下の2つのモードを選択可能です。(設定 36ページ)

マニュアル優先モード

モニター1で監視しているカメラをマニュアル操作しているとき、そのカメラをアラーム動作させないようにします。ただし、以下の場合はアラーム動作を行ないます。

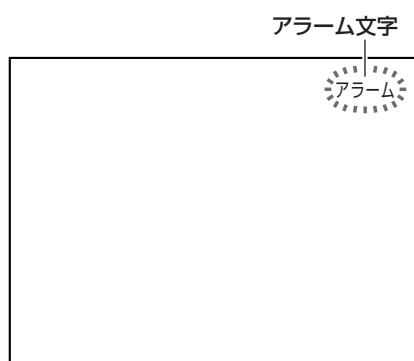
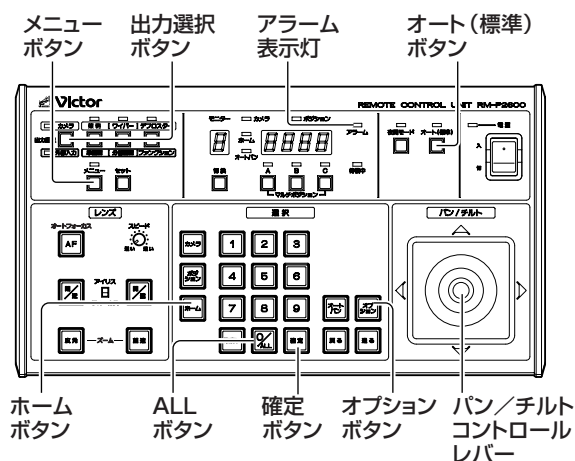
- オート(標準)状態
- ホームポジション状態
- オートパン中
- カメラ側のアラームが入ったとき(36メモ)
- モニター1でカメラを操作しているときに、他のカメラにアラームが入った場合、そのカメラはアラーム状態になりますが、モニター1には操作中のカメラ映像が表示されたまま切り換わりません。
- モニター2、モニター3では、「モニター2、モニター3の出力設定」、「アラーム映像出力」項目(39ページ)が「表示」に設定されていると、操作していないカメラにアラームが入った場合でも、モニター2、モニター3には最新のアラーム映像が表示されます。

メモ

- マニュアル優先モードは、SW-2600のアラーム端子に入力したアラーム信号にのみ有効です。カメラ側のアラームが入った場合は、マニュアル優先に設定されていてもアラーム動作を行います。

アラーム優先モード

メニュー表示中以外はアラームを優先し、アラーム動作となります。



(表示例)

メモ

- 「リモコンオプションキー」の設定が「アラーム切換」になっている場合(※40、41ページ)[オプション]ボタンを押して、アラーム中のカメラをモニターに表示してから手動解除することができます。その場合、出力選択は「カメラ」に切り換わります。

■ アラーム解除

自動解除

設定時間(※36ページ「アラーム戻り時間」)が過ぎると、アラームは自動的に解除されます。

- カメラはアラーム入力前の標準状態(ホームポジション、あるいはオートパン)に戻ります。
- アラーム表示灯が消灯します。
- モニターがシーケンス動作中にアラームが入るとシーケンス動作(オートシーケンス、プリセットシーケンス)に戻ります。
- アラーム文字が消えます。(アラーム文字の表示は、接続カメラの種類によって異なります。)

手動解除

下記の操作によりアラームが解除されます。(手動解除が有効なのは、モニター1の操作時で、出力選択が、「カメラ」になっている場合のみです。)

- アラーム中のカメラを選択する。(カメラに切り換わり解除)
- ポジションを選択する。(別のポジションに切り換わり解除)
- [オート(標準)]ボタンを押す。(アラーム解除後シーケンス動作を開始、全てのアラームを解除)
- [オートパン]ボタンを押す。(表示中のアラーム解除後、オートパン動作開始)
- マルチポジションの選択をする。(選択したマルチポジションの映像に切り換わって解除)
- [確定]ボタンを押す。(アラーム画面表示のままで解除)

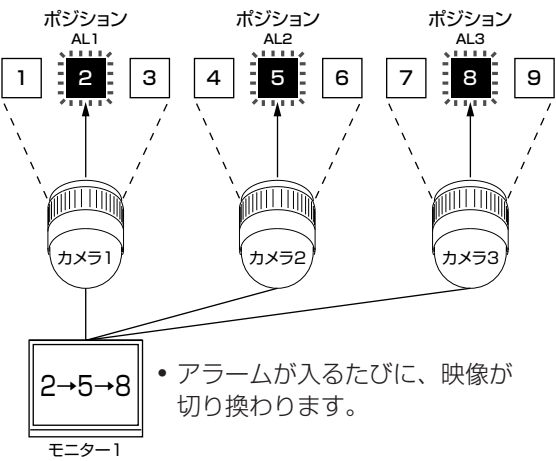
複数のアラームを同時に解除するには

- [ホーム]ボタン→[ALL]ボタン→[確定]ボタンの順に押すとアラーム解除後全てのカメラがホームポジションに戻ります。
- [オート(標準)]ボタンを押す。(全てのアラームを解除し、シーケンス動作を開始。)

その他の機能 (つづき)

アラーム制御パターンについて

アラーム時の動作はシステム設定項目のアラーム設定「アラーム制御パターン」設定により標準・一斉のいずれかを選択可能です。(※36 ページ)

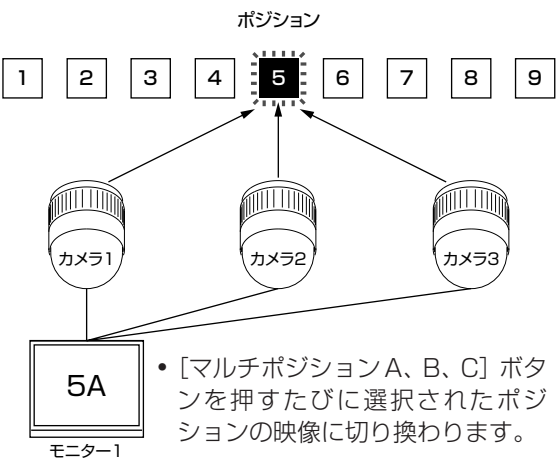


■ 標準

- AL1.** ポジション2 にアラームが入ると、カメラ1 の映像がポジション2に切り換わります。
- AL2.** 続けて、ポジション5 にアラームが入ると、カメラ2 の映像がポジション5に切り換わります。
- AL3.** 続けて、ポジション8 にアラームが入ると、カメラ3 の映像がポジション8に切り換わります。

設定条件

- ・ポジション1～3はカメラ1で、ポジション4～6はカメラ2で、ポジション7～9はカメラ3で登録されている場合
- ・「アラーム制御パターン」項目を“標準”に設定



■ 一斉

ポジション5にアラームが入ると、カメラ1, カメラ2, カメラ3の映像が同時にポジション5に切り換わります。

設定条件

- ・「プリセットポジション設定」画面において、マルチポジションA、B、Cを設定する。
- ・ポジション5のAをカメラ2に登録
- ・ポジション5のBをカメラ1に登録
- ・ポジション5のCをカメラ3に登録
- ・アラーム制御パターン項目を“一斉”に設定

■アラーム制御パターンとアラーム入力時制御できるモニター出力の関係

システム設定のアラーム設定「アラーム制御パターン」項目(※36 ページ)の設定で、各リモコンで制御できるモニター、およびアラーム入力時、モニターに表示されるカメラ映像が異なります。下の表は、アラーム制御パターンごとにモニター1～3(※1)を制御できるリモコン1～3(※2)を表しています。A、B、C登録のカメラとは、マルチポジションA,B,Cに登録されたカメラです。

(※1)SW-2600の背面 MONITOR OUTPUT1～3に接続されたモニター

(※2)SW-2600の背面 TO RM-P2600 1～3に接続されたリモコン

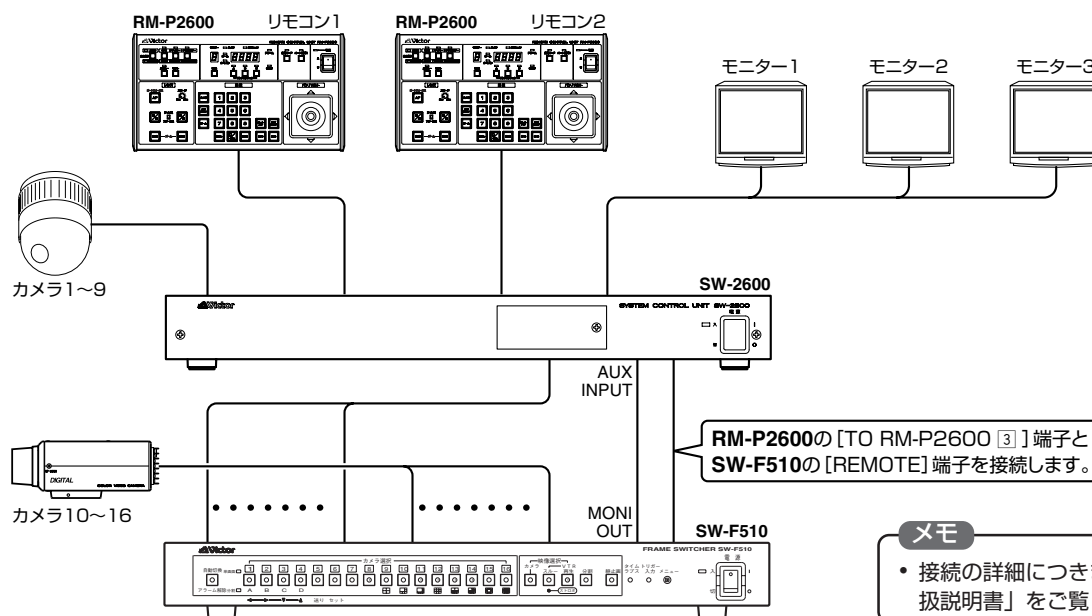
モニター出力		モニター1	モニター2	モニター3
アラーム制御パターン	モニター表示	最新アラームだけを表示		
	制御可能リモコン	リモコン 1	リモコン 1 または リモコン 2	リモコン 1 または リモコン 3
一斉	モニター表示	最新アラームの A 登録カメラだけを表示		
	制御可能リモコン	リモコン 1	リモコン 1 または リモコン 2	リモコン 1 または リモコン 3

- ・一斉に設定した場合、アラーム入力があると、マルチポジション登録されているカメラは、一斉動作をおこないますが、モニター画面上はマルチポジションAに登録されているカメラの最新アラーム映像のみが表示されます。

フレームスイッチャーSW-F510の操作

システム設定の「接続機器設定」項目の「シリアル[3]」の設定を“**SW-F510**”に設定すると、フレームスイッチャー**SW-F510**の制御がおこなえます。(P41 ページ シリアル[3] 接続機器設定)

■ 接続



メモ

- 接続の詳細につきましては、**SW-2600**の「取扱説明書」をご覧ください。

■ 接続設定

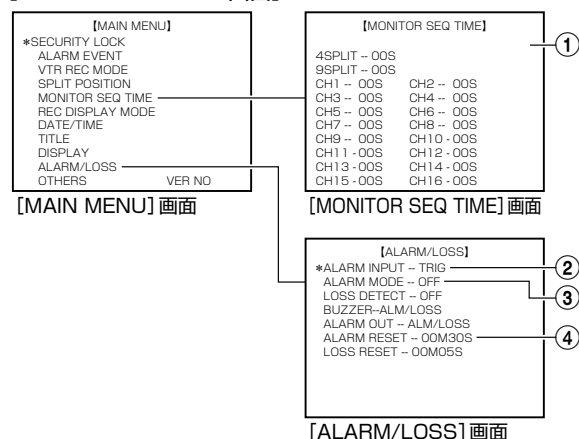
● 本機のメニュー設定

システム設定「接続機器設定」項目「シリアル[3]」の「端子接続設定」を“**SW-F510**”に設定します。(P41 ページ)

● SW-F510のメニュー設定

本システムでは、動作に整合性を持たせるため**SW-F510**で以下のメニュー設定が必要となります。

【SW-F510のメニュー画面】



「オートシーケンス機能」の設定

① オートシーケンスができないようにする

オートシーケンスは**SW-2600**で制御します。そのため、**SW-F510**でオートシーケンス動作できなくする必要があります。

設定 MAIN MENU[MONITOR SEQ TIME]画面、全ての設定時間を“00S”(0秒)に設定

「アラーム機能」の設定

② [ALARM IN]端子の極性を“トリガ入力”(TRIG)にする

SW-F510のアラームは、**SW-2600**のアラーム出力(トリガ)で入力されます。そのため、[ALARM IN]端子の極性を“トリガ入力”(TRIG)に設定する必要があります。

設定 MAIN MENU[ALARM/LOSS]画面[ALARM INPUT]項目を“TRIG”に設定

③ アラーム入力時、SW-F510でカメラの切り換えができないようにする

カメラの切り換えは**SW-2600**からのシリアル信号でおこないます。そのため、**SW-F510**でカメラの切り換えができないようにする必要があります。

設定 MAIN MENU[ALARM/LOSS]画面[ALARM MODE]項目を“OFF”に設定

④ アラーム解除ができないようにする

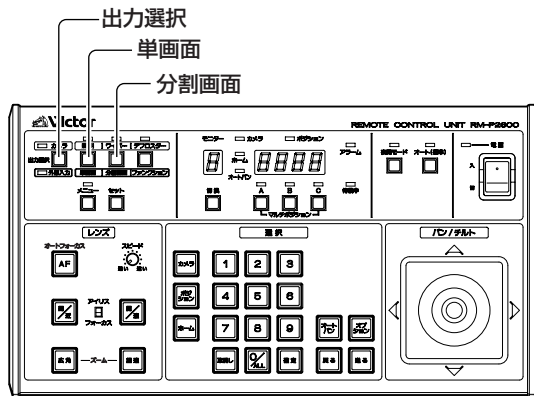
アラーム解除は**SW-2600**の解除コマンドでおこないます。そのため、**SW-F510**でアラーム解除ができないようにする必要があります。

設定 MAIN MENU[ALARM/LOSS]画面[ALARM RESET]項目の設定時間を、本機で設定する「アラーム戻り時間」(P36 ページ)より長い時間に設定

その他の機能 (つづき)

フレームスイッチャーSW-F510の操作 (つづき)

■ 操作方法と動作(SW-F510の制御はリモコン1でモニター1を使用する場合のみ可能)



リモコン1でモニター1を使用する場合

- リモコン1の[出力選択]が、[カメラ]、[外部入力]のどちらでも、**SW-F510**の[CAMERA IN 10～16]に接続したカメラを含む全てのカメラの映像をモニター1で切り換えた見ることができます。
- リモコン1の[出力選択]を[外部入力]にすると、カメラの切り換えに加え[単画面]、[分割画面]の切り換えができます。

モニター2、モニター3で使用する場合

- [出力選択]が[カメラ]になっている場合、カメラ1～9までの映像は、切り換えて見ることができますが、カメラ10～16の映像を見ることはできません。
- [出力選択]を[外部入力]にすると、カメラ10～16の映像は見られますが、切り換えたり制御することはできません。

SW-510を接続したシステムでの操作上の制限

- SW-F510**接続時には、出力選択ボタンの選択状態にかかわらず、つねに[AUX INPUT]端子に接続した**SW-F510**の映像が、モニター1に出力されます。そのため**SW-F510**の電源が入っていないと、モニター1には何も表示されません。
- モニター3で**SW-F510**に接続されたカメラの映像を見るには、システム設定「接続機器設定」「シリアル1出力設定」の「使用モニター台数」項目を“3台”に設定してください。(P40ページ)
- SW-F510**接続時にはリモコン3が利用できません。そのためモニター3は電源投入後、設定された標準動作(工場出荷時はオートシーケンス動作)をし続けます。
モニター3を制御したい場合には、シリアル1(リモコン1)の「モニター使用台数」項目を“3台”に設定する必要があります。(P40ページ)
- モニター2、モニター3の出力設定「アラーム映像出力」の設定はできません。(P39ページ)
- アラーム動作はアラーム優先モードのみとなります。(P36ページ)
- SW-F510**に接続するカメラ(カメラ10～カメラ16)に対するアラーム入力はありません。
- SW-F510**本体のカメラ選択ボタンなどを直接操作した場合、本機の[カメラ/ポジション]表示部に表示されているカメラ番号と、実際にモニター画面上に表示されている映像を撮影しているカメラの番号に不一致が生じます。

システムをはじめに組んだ場合やカメラを入れ換えた場合は、各ポジションの設定やタイトル設定を必ずおこなってください。設定は33ページ「設定手順」に従っておこなってください。

はじめに

正しくお使いいただくためのご注意	2
特長	2
付属品・添付物	2
目次	3
各部の名称とはたらき	4

操 作

操作の前に	7
手動操作	8
オート動作	16
その他の機能	19

設 定

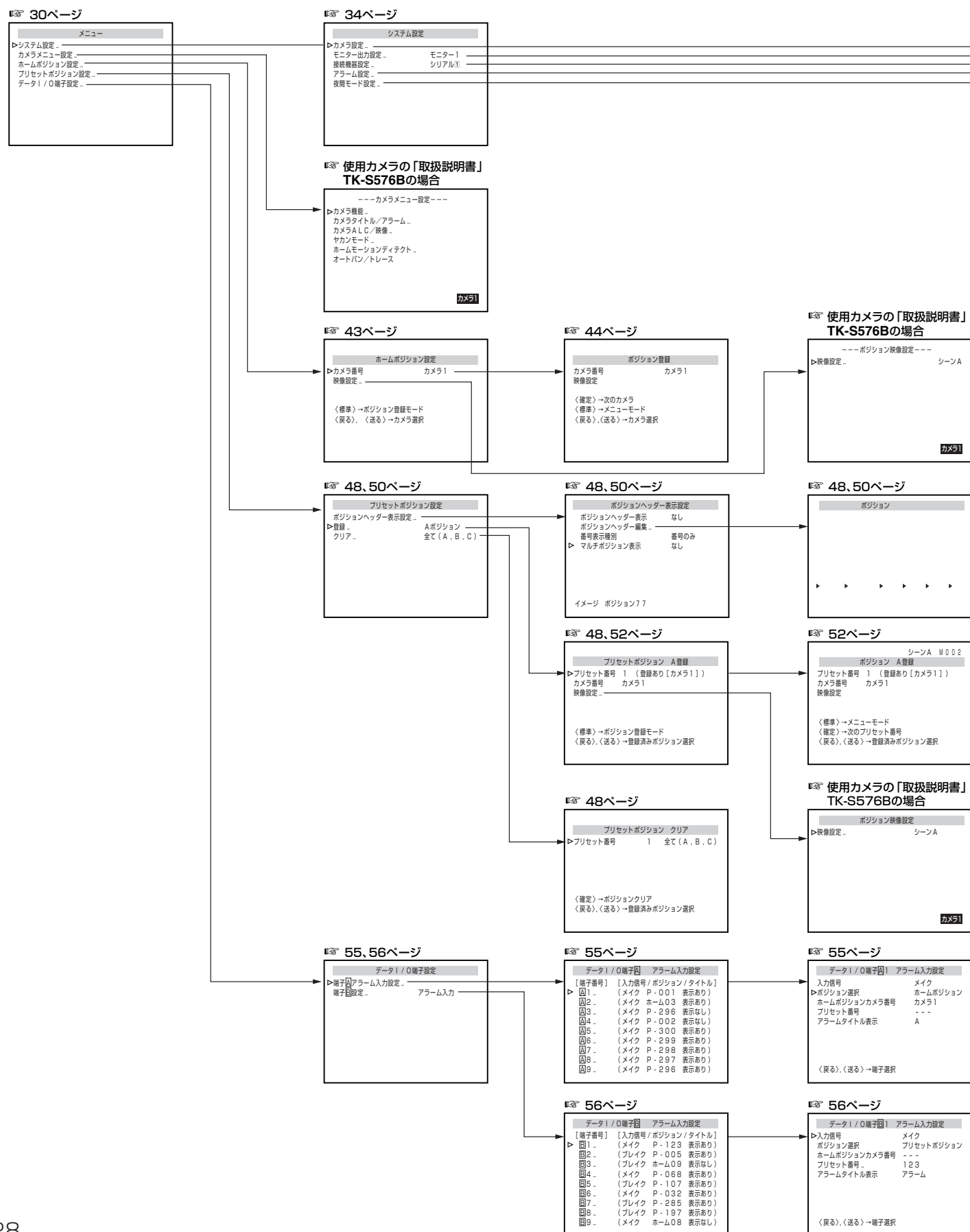
メニュー画面の流れ	28
メニューの基本操作	
・メニュー画面を起動させる	30
・設定値を変える	32
・設定手順	33
システム設定(初期設定)	34
・モニター 1 の出力設定(モニター出力設定をモニター 1 に設定時)	38
・モニター2、モニター3の出力設定(モニター出力設定をモニター2モニター3に設定時)	39
・シリアル①(リモコン1)出力設定	40
・シリアル②接続機器設定	40
・シリアル③接続機器設定	41
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定(カメラ側のメニュー)	42
ホームポジション設定	43
プリセットポジション設定	46
・ポジションヘッダーの設定	50
・プリセットポジションの登録	54
データ I/O 端子設定	55
・端子 A 設定	55
・端子 B 設定	56
・端子 B アラーム入力設定	56
設定時のメッセージ表示について	57
キーロック(誤操作防止)	58
設定切換スイッチ	59

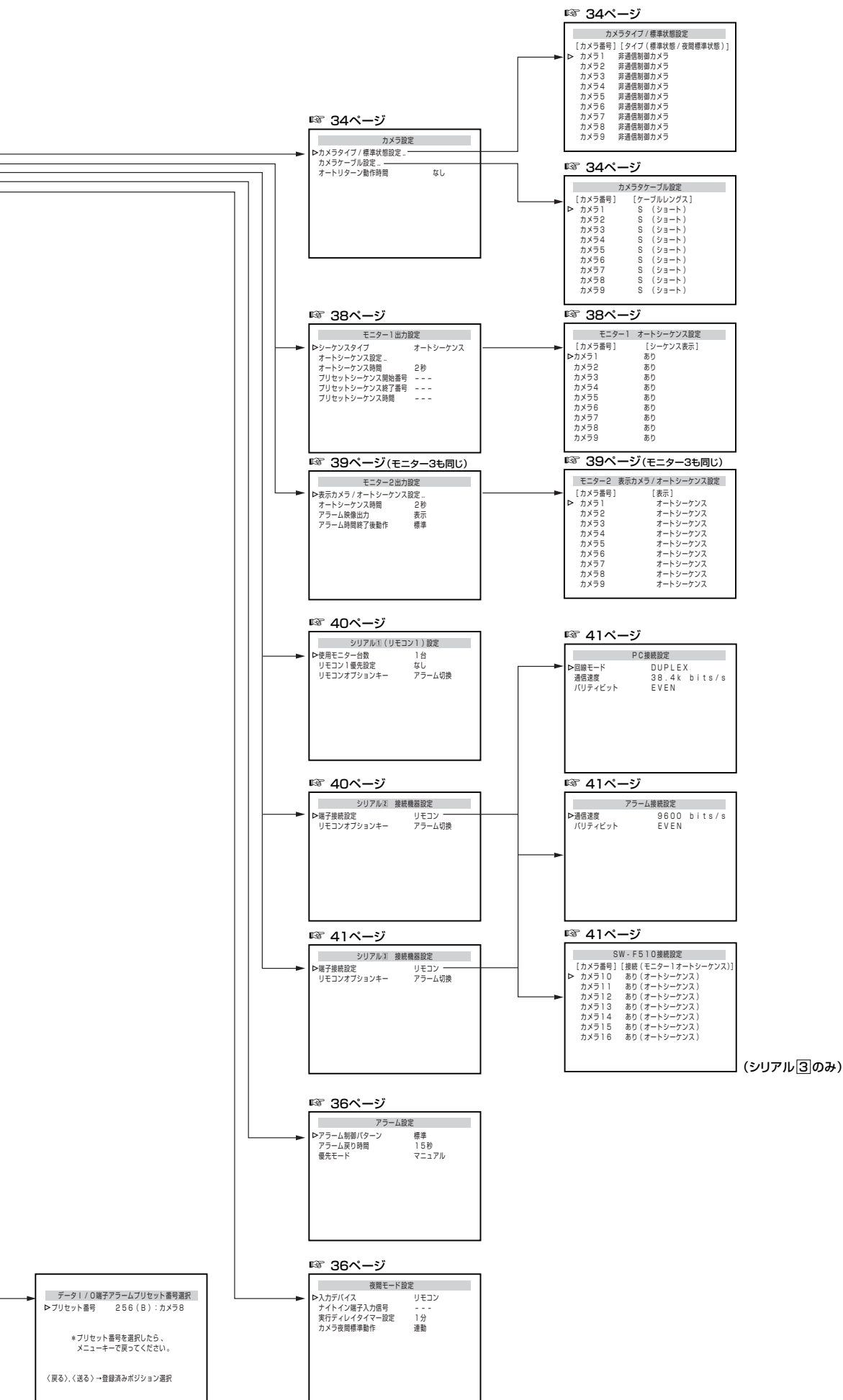
そ の 他

故障かな?と思ったら	60
保証とアフターサービス	62
仕様	63

メニュー画面の流れ

■メニュー画面（パスワード「2222」）



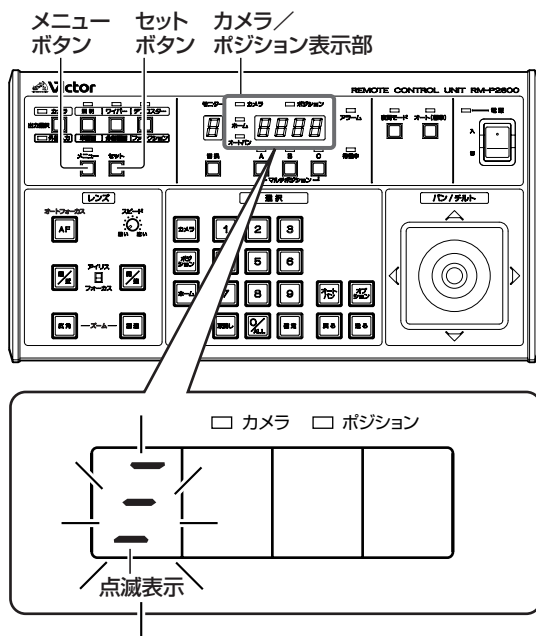
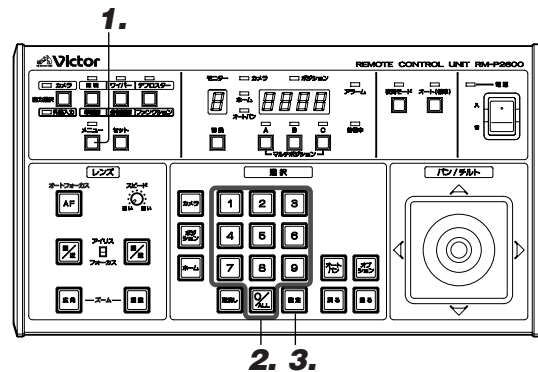


メニューの基本操作

メニュー画面を起動させる

メニュー画面を起動させるには、下記の手順でパスワードの入力をおこなってください。

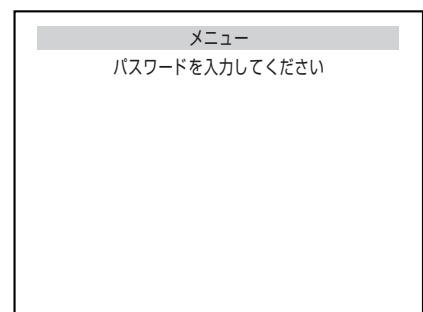
※ 実際の設定は「設定手順」
(33ページ)にしたがってください。



1. [メニュー]を長押しする(約1秒)



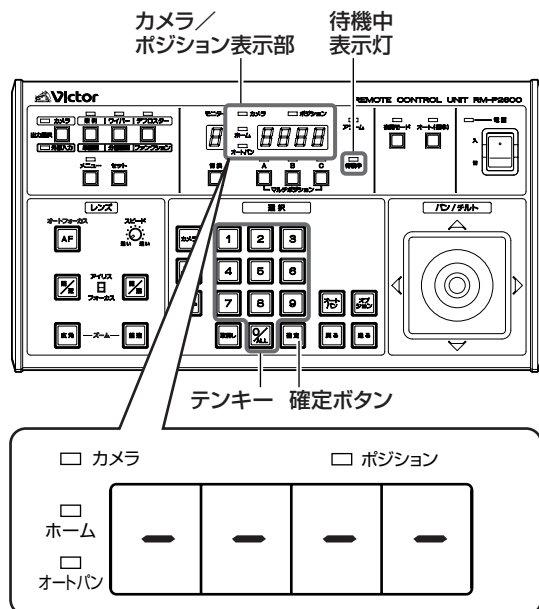
- “ピッ”と音がして、画面が黒くなり、パスワード入力画面が表示されます。
- [メニュー] 表示灯が点灯します。
- [カメラ/ポジション] 表示部に「三」が点滅表示されます。



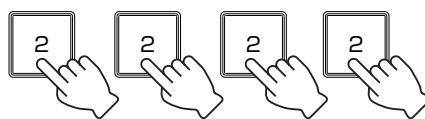
【パスワード入力画面】

メモ

パスワード入力画面表示中に、[メニュー]ボタンを押すと、メニュー画面を終了し、通常状態に戻ります。



2. パスワードを入力する

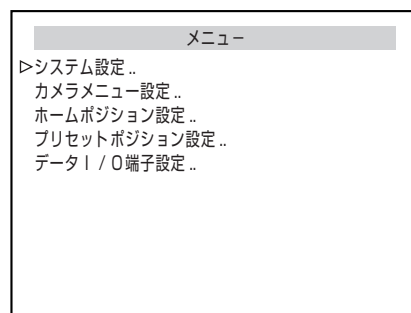


- [テンキー]で「2.2.2.2」と入力します。
- [カメラポジション表示部]に「---」と表示されます。

3. [確定]を押す



- メニュー画面が表示されます。



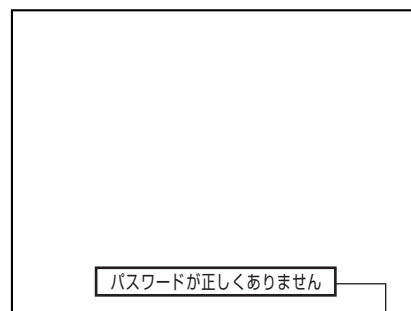
【メニュー画面】

メモ

- メニューの操作は、リモコン1 ([TO RM-P2600①] 端子に接続されたリモートコントロールユニット) のみで操作することができます。その時メニューは、モニター1 (SW-2600の背面部、[MONITOR OUTPUT 1]端子に接続されたモニター) に表示されます。
- メニュー操作中、リモコン1以外のリモコンは[待機中]表示灯が点灯し、操作できません。
- メニュー操作中のアラーム入力は受け付けません。
- メニュー操作中、夜間モード(☞19ページ)は、解除されます。その後、メニュー操作を終了しても、夜間モードは復帰しません。ただし、ナイトイン端子設定している場合(☞36ページ)には、端子の状態になっています。

4. パスワードを間違えた場合

- 「パスワードが正しくありません」と約3秒間表示され、**1.**のパスワード入力待ち状態になるので、正しいパスワードを入力してください。



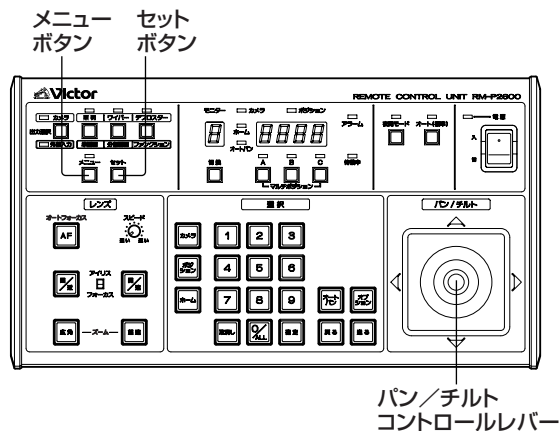
3秒間表示

メニューの基本操作 (つづき)

設定値を変える

設定値を変えるには下記の手順でサブメニューを表示しておこないます。

※ 実際の設定は、「設定手順」(P.33 ページ)にしたがってください。

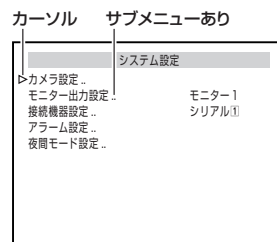


メモ

- メニュー画面で「メニュー」ボタンを押すと、パスワード入力画面に戻ります。(P.30 ページ)

3. [セット]を押す

- サブメニュー画面が表示されます。

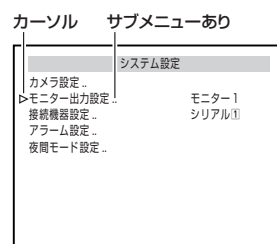
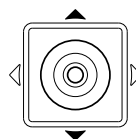


【システム設定画面】

■設定値を変更する

4. [パン/チルト]コントロールレバーで項目を選ぶ(◀▶)

- 設定値を変えたい項目にカーソル(▷)をあわせます。

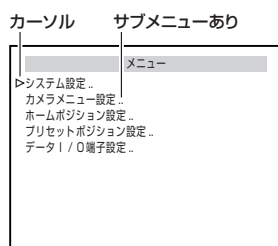


【システム設定画面】

■サブメニューを起動させる

1. メニュー画面を起動させる (P.30 ページ)

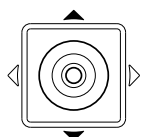
- モニターに通常メニュー画面が表示されます。



【メニュー画面】

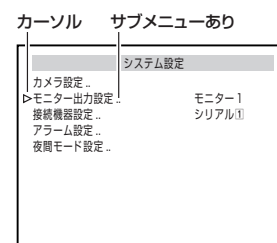
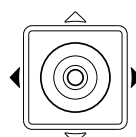
2. [パン/チルト]コントロールレバーで項目を選ぶ(◀▶)

- 選択したい項目にカーソル(▷)をあわせます。
- 項目の後ろに「…」が付いているものにはサブメニューがあります。



5. [パン/チルト]コントロールレバーで設定値を変える(◀▶)

- 左右に動かすたびに値が変化します。



【システム設定画面】

■上位のメニュー画面に戻る

6. [メニュー]を押す

- 上位のメニュー画面に戻ります。



設定手順

システムをはじめて組んだ場合、以下の手順で設定してください。設定後は必ず **確認** をおこなってください。

1. システム設定 (☞ 34 ページ)



接続された機器に関する設定(カメラの設定、モニターの設定、接続機器の設定、アラーム設定など)をおこないます。
※カメラカメラ設定は確実にこなってください。映像が出力されない場合があります。

確認 「カメラを選択する」(☞ 8 ページ)、「モニターの切り換え」(☞ 21 ページ)など

2. カメラタイトルの設定 (☞ 使用カメラの『取扱説明書』)



全ての接続カメラのカメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定します。(☞ 42 ページ)
設定は、メニュー画面でカメラメニュー設定項目を選択し、カメラメニュー画面でおこないます。
※次のカメラのカメラタイトルの設定をおこなう場合は、[送る]を押します。

確認 タイトル設定されたカメラ画面の左下に、設定したタイトルが表示されます。

3. ホームポジション設定 (☞ 43 ページ)



全ての接続カメラのホームポジションの画角(モニターに表示される映像)を設定します。

確認 「ホームポジションを選択する」(☞ 10 ページ)

(必要に応じておこないます)

4. ホームポジションの映像設定 (☞ 45 ページ)



設定したホームポジションごとに、アイリス、ExDR などの映像シーン設定をおこないます。
(☞ 詳細は使用カメラの『取扱説明書』をご覧ください)

5. プリセットポジション設定 (☞ 52 ページ)



接続カメラのポジションを設定します。

確認 「プリセットポジションを選択する」(☞ 12 ページ)、ポジションタイトルの表示

(必要に応じておこないます)

6. プリセットポジションの映像設定 (☞ 54 ページ)



設定したプリセットポジションごとにアイリス、ExDR などの映像シーン設定をおこないます。
(☞ 詳細は使用カメラの『取扱説明書』をご覧ください)

(必要に応じておこないます)

7. データ I/O 端子設定 (☞ 55 ページ)

SW-2600 背面の [ALARM IN **A**]、ALARM IN **B**] 端子などの設定をおこないます。

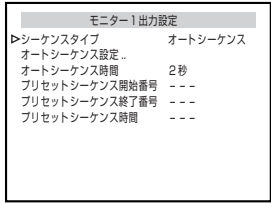
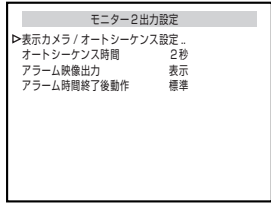
システム設定（初期設定）

システムに使用するカメラの設定やモニター出力、接続機器などを設定します。設定を間違えると、システムが正常に動作しません。また、システムを変更した場合も再度設定しなおしてください。

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容												
カメラ設定		カメラに関する設定をします。												
カメラタイプ／標準状態設定	接続なし ●非通信制御カメラ 通信制御カメラ ホーム／ホーム 通信制御カメラ オートパン／ホーム 通信制御カメラ オートパン／オートパン	カメラ信号入力端子に接続されるカメラのタイプおよび、オート(標準)状態時にオートパンするかどうかを設定します。 TK-S576B、TK-S655、TK-S850 は通信制御カメラです。ただし、 TK-S850 はオートパン機能がないので「通信制御カメラ(ホーム／ホーム)」に設定してください。 ■カメラタイプ／標準状態設定画面 <div>カメラタイプ／標準状態設定 〔カメラ番号〕〔タイプ(標準状態／夜間標準状態)〕 ▶ カメラ1 非通信制御カメラ カメラ2 非通信制御カメラ カメラ3 非通信制御カメラ カメラ4 非通信制御カメラ カメラ5 非通信制御カメラ カメラ6 非通信制御カメラ カメラ7 非通信制御カメラ カメラ8 非通信制御カメラ カメラ9 非通信制御カメラ</div> <div>ご注意 夜間モード設定の「カメラ夜間標準動作」項目が「連動」に設定されており、(P37ページ)カメラタイプ／標準状態設定で、標準状態が「オートパン」に設定してある場合[夜間モード]ボタンをONからOFFにすると、カメラはオートパン動作します。</div> 接続なし : 端子にカメラを接続しないときに設定します。この設定にすると、手動選択も、オートシーケンス時の選択もおこなえません。 非通信制御カメラ : 同軸多重で通信制御しないカメラの場合に設定します。 通信制御カメラ : 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)の場合に設定します。夜間モードのON/OFFに関わらず、カメラの標準状態は「ホームポジション」です。 通信制御カメラ : 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)の場合に設定します。カメラの標準状態は、夜間モードOFF時に「オートパン」夜間モードON時には「ホームポジション」になります。 通信制御カメラ : 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)の場合に設定します。カメラの標準状態は夜間モードのON/OFFに関わらず「オートパン」です。 <table><tr><th>設 定</th><th>夜間モードOFF時のカメラの標準状態</th><th>夜間モードON時のカメラの標準状態</th></tr><tr><td>通信制御カメラ ホーム／ホーム</td><td>ホーム</td><td>ホーム</td></tr><tr><td>通信制御カメラ オートパン／ホーム</td><td>オートパン</td><td>ホーム</td></tr><tr><td>通信制御カメラ オートパン／オートパン</td><td>オートパン</td><td>オートパン</td></tr></table> (P18ページ「オートパン」、P19ページ「夜間モード」) メモ ・全ての端子を「接続なし」に設定した場合は、画面上に「全ての端子を接続なしに設定できません」と表示されます。 ・オートパンについては、カメラにオートパン機能が無い場合でも選択できますが、正しく動作しません。	設 定	夜間モードOFF時のカメラの標準状態	夜間モードON時のカメラの標準状態	通信制御カメラ ホーム／ホーム	ホーム	ホーム	通信制御カメラ オートパン／ホーム	オートパン	ホーム	通信制御カメラ オートパン／オートパン	オートパン	オートパン
設 定	夜間モードOFF時のカメラの標準状態	夜間モードON時のカメラの標準状態												
通信制御カメラ ホーム／ホーム	ホーム	ホーム												
通信制御カメラ オートパン／ホーム	オートパン	ホーム												
通信制御カメラ オートパン／オートパン	オートパン	オートパン												

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
カメラ設定(つづき)		
カメラケーブル設定	●S(ショート) M(ミドル) L(ロング) XL(エクストラロング)	カメラと SW-2600 を接続するケーブルの長さを設定します。正しいケーブルの長さを設定しないとカメラが正しく動作しない場合があります。 S(ショート) : 0m ~ 150m(5C-2V)、0m ~ 100m(3C-2V)のケーブルの場合に設定します。 M(ミドル) : 150m ~ 300m(5C-2V)、100m ~ 200m(3C-2V)のケーブルの場合に設定します。 L(ロング) : 300m ~ 500m(5C-2V)のケーブルの場合に設定します。 XL(エクストラロング) : 500m ~ 700m(5C-2V)のケーブルの場合に設定します。
オートリターン動作時間	●なし 1分 2分 3分 5分 10分 20分 30分 60分	オートリターンとはマニュアル操作したカメラを一定時間操作しないと、そのカメラが自動的に、カメラ設定の「カメラタイプ標準状態」設定で設定した標準状態に戻る機能です。 なし : オートリターンは動きません。 1分 ~ 60分 : オートリターンが動作する時間を設定します。 操作しない時間が設定した時間をこえると、オートリターンが働き、カメラが標準状態に戻ります。
モニター出力設定	●モニター 1 モニター 2 モニター 3	モニター 1 ~ モニター 3 のオート(標準)状態時の動作などを、モニター出力ごとに設定します。 <div> ■モニター 1 出力設定画面 (☞ 38 ページ 「モニター 1 の出力設定」) </div> <div>  </div> <div> ■モニター 2(3 も同様) 出力設定画面 (☞ 39 ページ 「モニター 2、モニター 3 の出力設定」) </div> <div>  </div>
<div> メモ • モニター 1 と、モニター 2、モニター 3 の設定画面は異なります。(☞ 38、39 ページ) </div>		
接続機器設定	●シリアル① シリアル② シリアル③	SW-2600 の背面[TO RM-P2600①~③]の各シリアル端子に接続する機器の設定をおこないます。 シリアル① : [TO RM-P2600①]端子に接続するリモコンの設定をおこないます。(リモコン専用端子) シリアル② : [TO RM-P2600②]端子に接続する機器の設定をおこないます。 シリアル③ : [TO RM-P2600③]端子に接続する機器の設定をおこないます。 <div> メモ • シリアル① ~ シリアル③ にはサブメニューがあります。 (☞ 40、41 ページ) </div>

システム設定（初期設定）（つづき）

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
アラーム設定		
アラーム制御パターン	●標準 一斉	マルチポジション設定されたカメラに、アラームが入った時の動作を設定します。 標準 : アラームが入ると、マルチポジションAに登録されたカメラの映像に切り換わります。(P22ページ「アラーム動作・解除について」) 一斉 : あるポジションにアラームが入ると、マルチポジションA、B、Cに登録されたカメラが一斉にそのポジションに向きます。
アラーム戻り時間	5～10秒(1秒ごと) ●15秒 20秒 25秒 30秒 戻らない	アラーム動作の時間を設定します。戻らないに設定すると、アラームを手動解除するまでアラームは解除されません。 (P23ページ「アラーム動作・解除について」)
優先モード	●マニュアル アラーム	モニター1に出力しているカメラをマニュアル操作している時に、アラームが入った場合の動作を設定します。 マニュアル : マニュアル操作中のカメラに、アラームが入ってもアラーム動作しません。(マニュアル優先) アラーム : マニュアル操作中である、なしに関わらずアラームが入るとアラーム動作になります。(アラーム優先) メモ ・SW-F510を接続したシステムの場合、(P25ページ)“優先モード”の項目は表示されません。
夜間モード設定		
入力デバイス	●リモコン ナイトイン端子	夜間モードのON/OFF方法を選択します。 リモコン : 本機の「夜間モード」ボタンで夜間モードをON/OFFします。 ナイトイン端子 : SW-2600背面の[NIGHT IN]端子からの信号で夜間モードをON/OFFします。 メモ ・入力デバイスが「ナイトイン端子」に設定されている場合に、本機の「夜間モード」ボタンを押すと、「ピッ」と音がして[待機中]表示灯が約1秒点灯し、夜間モードにはなりません。
ナイトイン端子 入力信号	●メイク ブレイク	入力デバイスを「ナイトイン端子」に設定したとき、夜間モードをON/OFFする入力信号の極性を設定します。 メイク : ナイトイン端子とグラウンド端子の接点がオープンからクローズになった時、夜間モードが“入”になります。 ブレイク : ナイトイン端子とグラウンド端子の接点がクローズからオープンになった時、夜間モードが“入”になります。 メモ ・入力デバイスが「リモコン」に設定されている場合、「ー」が表示され選択できません。

●は工場出荷時の値です。

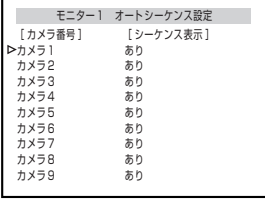
項 目	設 定 値	内 容
夜間モード設定(つづき)		
実行ディレイタイ マー設定	なし 30 秒 ● 1 分 2 分	夜間モードスイッチをOFFからONにしたとき、実際に夜間モード(強制白 黒切換、強制モーションディテクトなど)に切り換わるまでの時間を設定し ます。 夜間モードの設定は、カメラ側のメニューでおこないます。タイマー作動中 は夜間モード表示灯が点滅します。 (P19 ページ「夜間モード」)
カメラ夜間標準動作	非連動 ● 連動	夜間モードのON/OFFに連動してカメラを[カメラタイプ/標準状態設定] で設定した[標準状態]にするかの設定をします。 非連動 : 夜間モードをON/OFFしてもそれぞれの標準状態になりません。 連動 : 夜間モードをON/OFFすると連動してそれぞれの標準状態になり ます。

システム設定（初期設定）（つづき）

モニター1の出力設定（モニター出力設定をモニター1に設定時）

モニター1出力についての設定をおこないます。これらの項目を変えても、モニター2、モニター3の出力は変更されません。

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
シーケンスタイプ	●オートシーケンス プリセットシーケンス	<p>オート(標準)ボタンを押した時、モニター1出力の映像切換モード(シーケンスタイプ)を設定します。</p> <p>オートシーケンス：カメラの標準状態(ホームポジション/オートパン)の映像を一定時間間隔で切り換えてモニター1に表示します。 「オートシーケンス時間」 (☞17ページ「オートシーケンス動作」)</p> <p>プリセットシーケンス：プリセットポジションに設定されているA ポジションのカメラ映像を一定時間間隔で切り換えてモニター1に表示します。 「プリセットシーケンス開始番号」 「プリセットシーケンス終了番号」 「プリセットシーケンス時間」 (☞18ページ「プリセットシーケンス動作」)</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> プリセットポジションが設定されていないと、設定値をプリセットシーケンスにしても、カメラの映像は切り換わりません。
オートシーケンス設定		
カメラ1 └ カメラ9	●あり なし	<p>モニター1出力のオートシーケンスで表示するカメラの設定をおこないます。「なし」に設定されたカメラはオートシーケンス動作のとき、映像出力されません。「なし」に設定しても、手動操作では選択できます。</p> <p>■オートシーケンス設定画面</p>  <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのカメラを「なし」に設定した場合、オートシーケンスに設定してもモニター1の映像は切り換わりません。 シーケンスタイプが、「プリセットシーケンス」に設定されている場合、この項目は選択できません。 カメラタイプ/標準状態設定項目で、「接続なし」に設定された端子番号は「- - -」が表示されて、この項目は選択できません。
オートシーケンス時間	1 秒 └ 30 秒 (●2 秒)	<p>オートシーケンス動作中のカメラの切換時間を設定します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> シーケンスタイプが、「プリセットシーケンス」に設定されている場合は、「- - -」が表示されて、この項目は選択できません。
プリセットシーケンス 開始番号	●1 └ 300	<p>プリセットシーケンス動作(☞18ページ)するときの、開始ポジションを設定します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> シーケンスタイプが、「オートシーケンス」に設定されている場合は、「- - -」が表示されて、この項目は選択できません。 ポジション登録がされていなくても表示されます。 プリセットシーケンス終了番号より大きい番号は入力できません。
プリセットシーケンス 終了番号	1 └ ●300	<p>プリセットシーケンス動作(☞18ページ)するときの終了ポジションを設定します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> プリセットシーケンス開始番号より小さい番号は入力できません。
プリセットシーケンス 時間	●10 秒 15 秒 20 秒 25 秒 30 秒	<p>プリセットシーケンス動作中のポジションの切換時間を設定します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> シーケンスタイプが、「オートシーケンス」に設定されている場合は、「- - -」が表示されて、この項目は選択できません。

モニター2、モニター3の出力設定（モニター出力設定をモニター2、モニター3に設定時）

設定は、モニター出力ごと（モニター 2、モニター 3）におこないます。

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
表示カメラ／オートシーケンス 設定		
カメラ 1 └ カメラ 9	なし カメラ選択のみ ●オートシーケンス	<p>それぞれのモニター出力で、表示するカメラの設定をおこないます。</p> <p>なし ： オートシーケンス選択も、マニュアル選択もおこなえません。</p> <p>カメラ選択のみ ： オートシーケンス設定時選択表示されません。マニュアル選択のみおこなえます。</p> <p>オートシーケンス ： 一定時間間隔で、各カメラのホームポジション映像を切り換え表示します。マニュアル選択もおこなえます。</p> <p>■表示カメラ / オートシーケンス設定画面</p> <div><div>モニター 2 表示カメラ / オートシーケンス設定</div><div><div>【カメラ番号】</div><div>【表示】</div><div>▶ カメラ 1 オートシーケンス</div><div>カメラ 2 オートシーケンス</div><div>カメラ 3 オートシーケンス</div><div>カメラ 4 オートシーケンス</div><div>カメラ 5 オートシーケンス</div><div>カメラ 6 オートシーケンス</div><div>カメラ 7 オートシーケンス</div><div>カメラ 8 オートシーケンス</div><div>カメラ 9 オートシーケンス</div></div></div> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">すべてのカメラを「なし」に設定した場合、メニュー解除時に“全てのカメラを表示なしには設定できません”と表示されます。セットボタンを押すと再度、設定メニューが表示されます。「オートシーケンス」がまったく設定されていない場合は、オートシーケンス状態になっても該当のモニタ出力は変化せず、アラーム動作後もモニターは切り換わりません。カメラタイプ／標準状態設定項目で「接続なし」に設定された端子番号は「- -」が表示されて、選択できません。
オートシーケンス時間	1 秒 └ 30 秒 (●2 秒)	オートシーケンス動作中のカメラの切換時間を設定します。
アラーム映像出力	●表示 表示しない	アラーム入力時に、アラームポジションのカメラ映像をモニター出力に表示するかどうかの設定をおこないます。
アラーム時間終了後動作	●標準 そのまま	<p>アラーム時間の終了後、該当のモニター出力をオート(標準)動作に戻すか、そのままにするか、を設定します。</p> <p>標準 ： オート(標準)動作時にアラームが入った場合、アラーム終了後にオート(標準)動作に戻ります。それ以外の場合は、アラーム入力のあったカメラの映像をアラーム終了後、メニューで設定した標準状態(☞34 ページ「カメラタイプ／標準状態設定」項目)で出力します。</p> <p>そのまま ： アラーム入力のあったカメラの映像をアラーム終了後、メニューで設定した標準状態(☞34 ページ「カメラタイプ／標準状態設定」項目)で出力します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">アラーム映像出力メニューで「表示しない」を選択した場合、「- -」が表示され選択できません。

システム設定（初期設定）（つづき）

シリアル①（リモコン1）設定

シリアル①(**SW-2600** 背面[TO RM-P2600①]接続端子)出力についての設定をおこないます。シリアル①はリモコン専用の端子です。

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
シリアル① (リモコン1)設定		[TO RM-P2600①]端子に接続するリモコンの設定をおこないます。シリアル①は、リモコン専用の端子です。
使用モニター台数	●1台 2台 3台	複数のモニターを使用するとき、リモコン1で制御できるモニターの台数を設定します。3台に設定するとモニター1、2、3の制御がおこなえます。 メモ ・モニターを2台もしくは3台に設定した場合、シリアル端子②、③にリモコンを接続しても操作できません。
リモコン1 優先設定	●なし あり	リモコン1で操作しているカメラを他のリモコンで操作できるかどうかを設定します。 なし : どのリモコンでも操作ができます。 あり : リモコン1が優先となり、リモコン1で操作しているカメラを、他のリモコンで操作することはできなくなります。
リモコン オプションキー	●アラーム切換 割当なし	[オプション] ボタンの機能の切り換えをおこないます。 アラーム切換 : 複数のアラームが入っている状態で[オプション] ボタンを押すと、アラームカメラの映像を順に切り換え、モニター1に出力します。 割当なし : [オプション] ボタンを押しても映像は切り換わりません。

シリアル② 接続機器設定

シリアル②(**SW-2600** 背面[TO RM-P2600②]接続端子)に接続する機器の設定をおこないます。シリアル②とシリアル③では接続できる機器が異なります。

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
シリアル②		[TO RM-P2600②]端子に接続する機器を設定します。
端子接続設定	●リモコン PC アラーム PCとアラームにはサブメニューがあります。(P41ページ)	リモコン : 本機(RM-P2600)を接続します。 PC : 現在は使用できるアプリケーションはありません。 アラーム : アラーム機器を接続します。
リモコン オプションキー	●アラーム切換 割当なし	[オプション] ボタンの機能の切り換えをおこないます。 アラーム切換 : 複数のアラームが入っている状態で[オプション] ボタンを押すと、アラームカメラの映像を順に切り換え、モニター1に出力します。 割当なし : [オプション] ボタンを押しても映像は切り換わりません。 メモ ・端子接続設定での設定が「リモコン」以外に設定されているとき、「---」と表示され設定できません。

シリアル^③ 接続機器設定

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
シリアル ^③		SW-P2600 背面 [TO-RM-P2600 ^③] に接続する機器を設定します。
端子接続設定	●リモコン PC アラーム SW-F510 <div>PC、アラーム、SW-F510にはサブメニューがあります。(P41ページ)</div>	リモコン : 本機(RM-P2600)を接続します。 PC : 現在は使用できるアプリケーションはありません。 アラーム : アラーム機器を接続します。 SW-F510 : SW-F510 を接続します。 SW-F510 を接続することで、カメラを最大16台まで接続することができます。
リモコンオプションキー	●アラーム切換 割当なし	[オプション] ボタンの機能の切り換えをおこないます。 アラーム切換 : 複数のアラームが入っている状態で[オプション] ボタンを押すと、アラームカメラの映像を順に切り換えモニター3に出力します。 割当なし : [オプション] ボタンを押しても映像は切り換わりません。

PC接続設定

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
回線モード	SIMPLEX ● DUPLEX	シリアル通信の回線モードを設定します。接続機器にあわせて設定してください。
通信速度	1200 bits/s 2400 bits/s 4800 bits/s 9600 bits/s 19200 bits/s ● 38.4K bits/s	シリアル通信の転送レートを設定します。接続機器にあわせて設定してください。
パリティビット	● EVEN ODD NONE	シリアル通信のパリティを設定します。接続機器にあわせて設定してください。

アラーム接続設定

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
通信速度	1200 bits/s 2400 bits/s 4800 bits/s ● 9600 bits/s 19200 bits/s 38.4K bits/s	シリアル通信の転送レートを設定します。接続機器にあわせて設定してください。
パリティビット	● EVEN ODD NONE	シリアル通信のパリティを設定します。接続機器にあわせて設定してください。

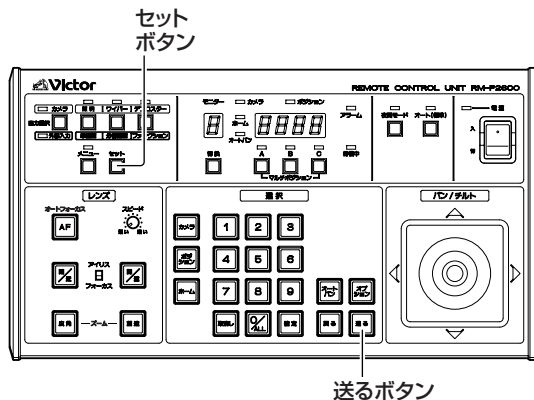
SW-F510設定

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
カメラ10 ↓ カメラ16	●あり(オートシーケンス) あり(カメラ選択のみ) なし	SW-F510 に接続されたカメラの接続状態および、モニター1でのオートシーケンス表示できるかできないかを設定します。 <div> ■ SW-F510 設定画面(シリアル^③のみ) </div>

カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定（カメラ側のメニュー）

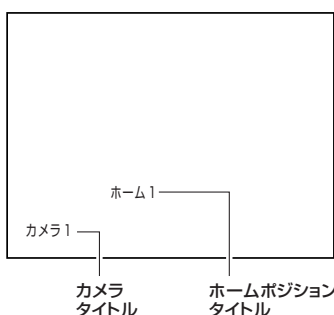
各カメラと、ホームポジションにタイトルを付けます。これらをあらかじめ設定することにより、ホームポジションの設定、プリセットポジションの設定などが、スムーズにおこなえます。



メモ

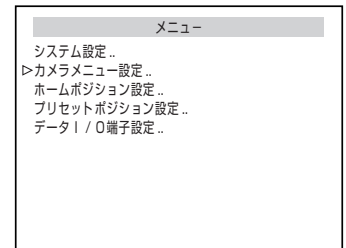
- 接続カメラの種類によって、メニューが異なります。詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- また、システム設定の「カメラタイプ／標準状態設定」項目(※34ページ)で、カメラタイプが「非通信制御カメラ」に設定されているカメラは選択できません。

(例) カメラタイトル→「カメラ 1」
ホームポジションタイトル→「ホーム 1」
と設定した場合の画面上の表示



1. メニュー画面を起動させる (※30ページ)

- メニュー画面が表示されます。

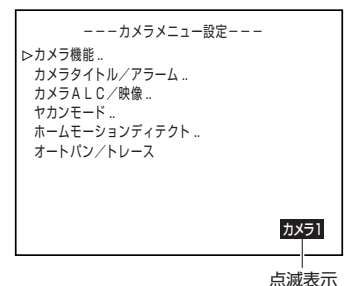


【メニュー画面】

2. カメラメニュー設定を選択し、 [セット]を押す

(例) TK-S576B の場合

- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。(カメラ側のメニューは黄色文字で表示されます。)
- 画面右下に **カメラ1** が点滅表示されます。



3. カメラタイトル、ホームポジション タイトルを設定する

- タイトルは画面左下に表示されます。

4. 次のカメラを設定する場合

- 「送る」ボタンを押します
- 次のカメラの映像に切り換わります。

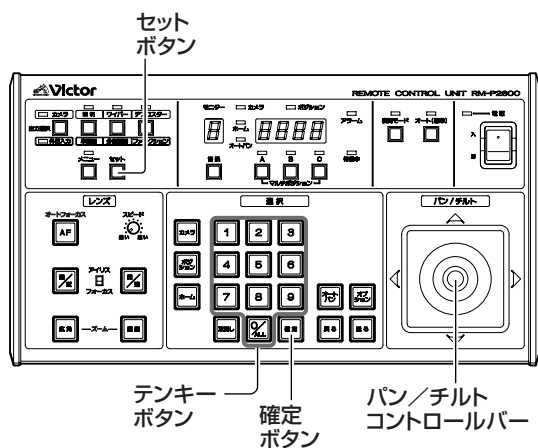


ホームポジション設定

全ての接続カメラのホームポジションの画角(モニターに表示される映像)を設定します。

ホームポジションとは

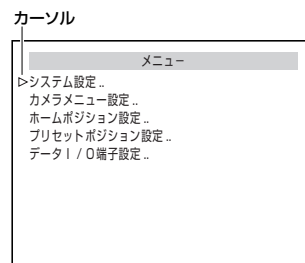
オートシーケンスのときに選択されるカメラ映像です。一般的にはズーム位置を広角側に設定し、全体がみわたせる位置を設定します。



1. メニュー画面を起動させる

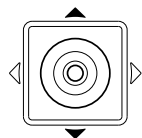
(☞30ページ)

- モニターにメニュー画面が表示されます。



[通常メニュー画面]

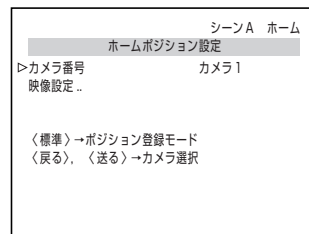
2. ホームポジション設定項目を選択する



- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、ホームポジション設定項目を選択します。

3. [セット]を押す

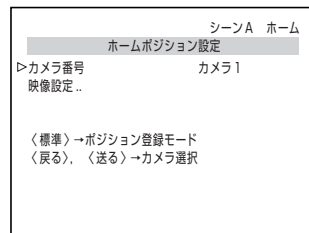
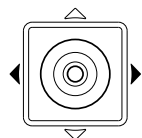
- ホームポジション設定画面が表示されます。



[ホームポジション設定画面]

4. 「カメラ番号」を選択する

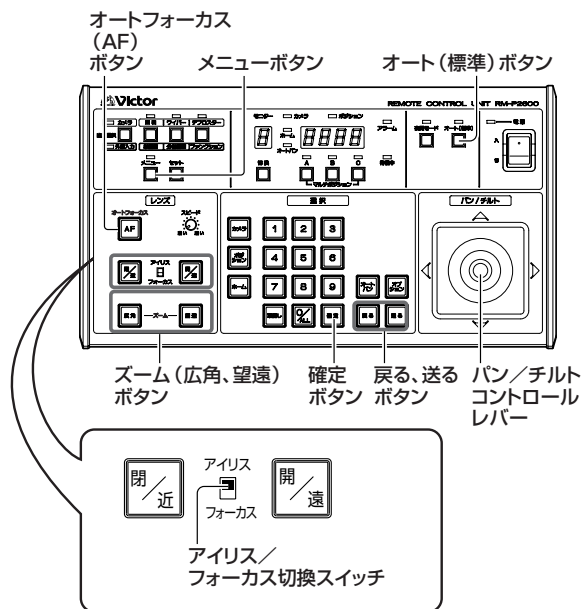
- [パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)を、左右に動かし、設定したいカメラを選びます。
- カメラが切り換わり、映像も選択されているカメラの映像に切り換わります。



[ホームポジション設定画面]

- [テンキー] ボタンでも、上記と同様に「カメラ番号」を選択することができます。その場合、[テンキー] ボタンで [カメラ番号] を入力して [確定] ボタンを押します。

ホームポジション設定 (つづき)



メモ

- [アイリス [閉] [開] / フォーカス (近) (遠)] ボタンを使用する場合、[アイリス/フォーカス] 切換スイッチを、画角設定したい方にあわせてから設定してください。

メモ

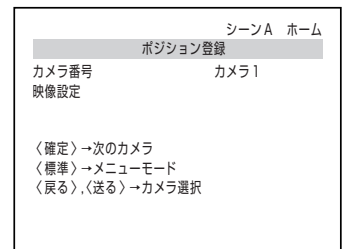
- [パン/チルト] 操作をしながら [確定] ボタンを押すと、「範囲外のポジション(チルト)」と表示されることがあります。この表示があった場合、ホームポジションが登録されないため、[パン/チルト] 操作を停止してから再度 [確定] ボタンを押して、ポジション登録してください。

メモ

- [メニュー] ボタンを押すと、上位メニュー画面に戻ります。

5. [オート(標準)] を押す

- ポジション登録画面が表示され、ポジション登録モードになります。
- [オート(標準)] ボタンが点灯します。



【ポジション登録モード画面】

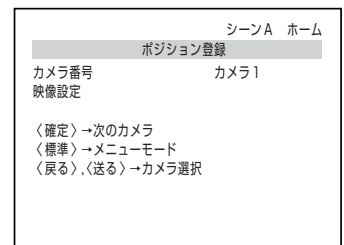
6. 画角を設定する

- [パン/チルト] コントロールレバー、[ズーム (広角) (望遠)] ボタン、[オートフォーカス (AF)] ボタン、[アイリス (閉) (開) / フォーカス (近) (遠)] ボタンでプリセットポジションの画角を設定します。
- ピントは [オートフォーカス (AF)] ボタンであわせます。あわない場合にフォーカスボタンで調整してください。

- [パン/チルト]: カメラの位置
- [オートフォーカス (AF)]: ピントの自動調節
- [アイリス (閉) (開) / フォーカス (近) (遠)]: 映像のピント、明るさ
- [ズーム (広角) (望遠)]: 画像サイズ

7. [確定] を押し、ホームポジションを登録する

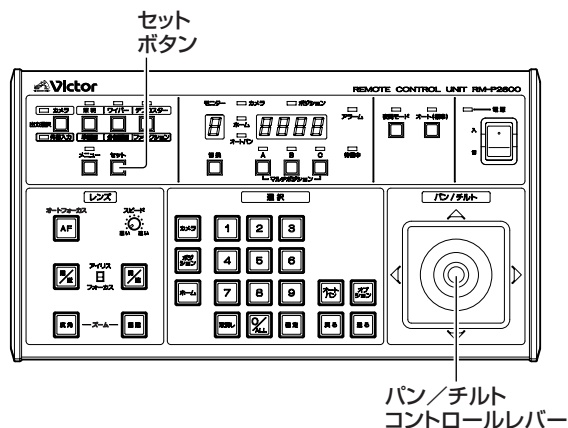
- 画面に「ホームポジションを設定しました」と表示され、ホームポジションが登録されます。
- 「カメラ番号」が次のカメラのホームポジションに切り換わります。



【ポジション登録モード画面】

- [戻る]、[送る] ボタンでも上記と同様にポジションを設定することができます。
- [標準] ボタンを押した場合もポジションが登録されますが、この場合は、ポジションが登録されたあと、3.のホームポジション設定画面に戻ります。

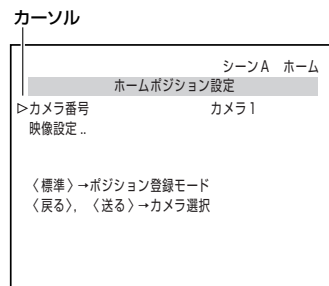
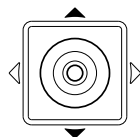
8. 手順 6. 7. を繰り返し、全てのホームポジションを登録する



■ 映像設定をおこなう

1. ホームポジション設定画面で映像設定項目を選択する

- カーソル(▷)を「パン/チルト」コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、映像設定項目を選択します。



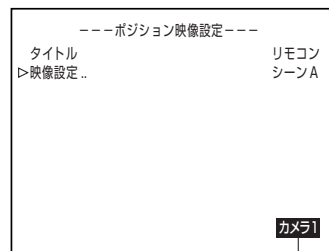
【ホームポジション設定画面】

メモ

- 接続カメラの種類によって、メニューが異なります。詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。

2. 「セット」ボタンを押す

- カメラ側のメニューが呼び出され、ポジション映像設定画面が表示されます。(カメラ側のメニューは黄色文字で表示されます)
- 画面左下に **カメラ1** が点滅表示されます。



【ホームポジション設定画面】

3. 設定をおこなう

- 必要に応じて細かい映像設定をおこないます。

ホームポジション設定画面

●は工場出荷時の値です。

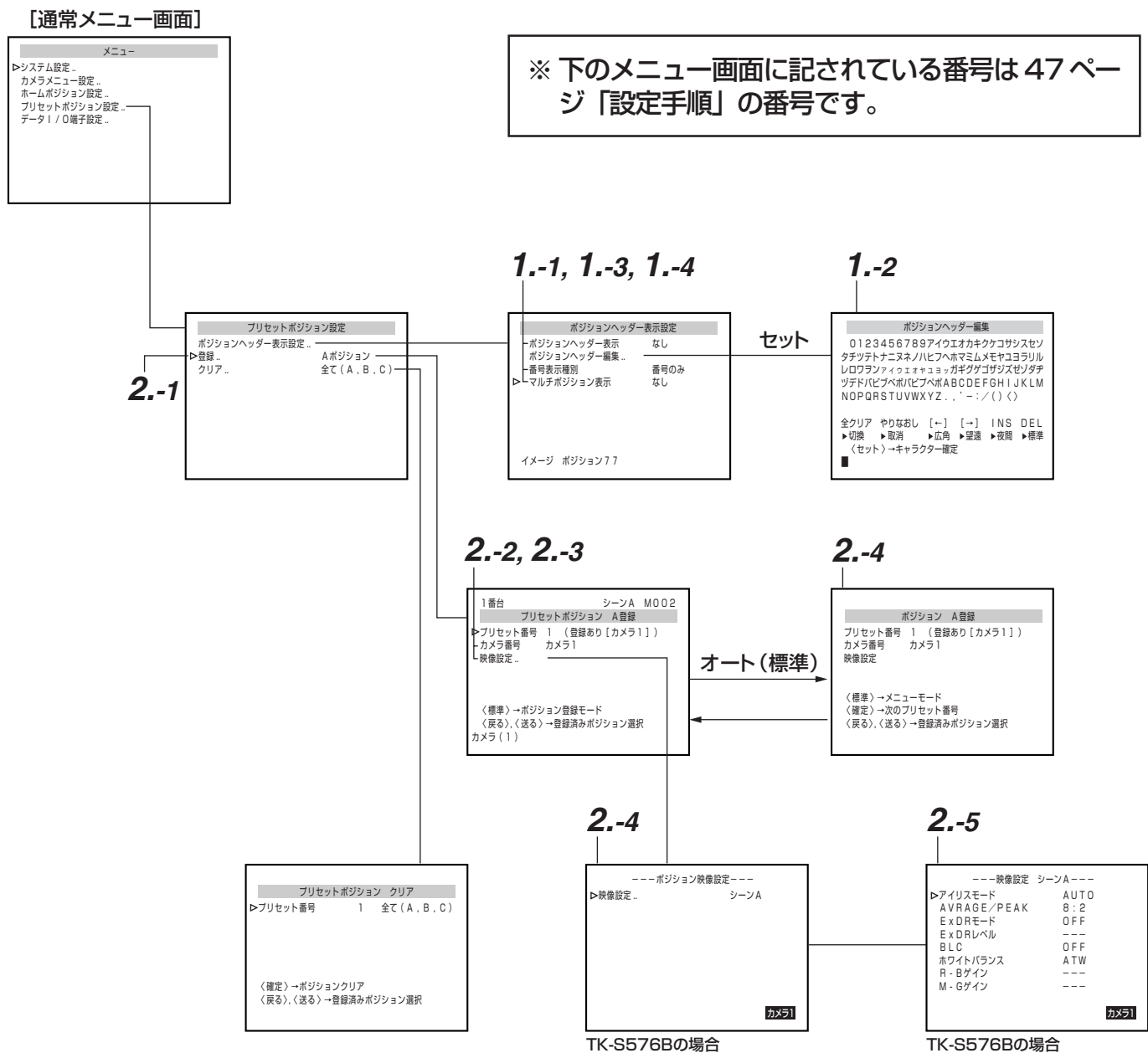
項 目	設 定 値	内 容
カメラ番号	●カメラ1 カメラ2 カメラ3 カメラ4 カメラ5 カメラ6 カメラ7 カメラ8 カメラ9	登録するホームポジションのカメラ番号を選びます。カメラ番号の選択は「戻る」、[送る] ボタン、[パン/チルト] コントロールレバーでおこなえます。 メモ 表示されるのは、「カメラタイプ/標準状態設定」(P34ページ)で「通信制御カメラ」に設定されたカメラのみです。
映像設定		映像カメラのカメラ側メニューを表示します。メニュー画面は、カメラによって異なります。詳細は接続カメラの「取扱説明書」をご覧ください。

プリセットポジション設定

■接続カメラのプリセットポジション設定します。

プリセットポジションとは
カメラごとに最大255ポジション(TK-S576Bの場合)のプリセットポジションを設定することができます。(TK-S655の場合は63ポジション、TK-S850は2ポジション)
一般的にホームポジションに対し、プリセットポジションには、ズーム位置を望遠側に設定し、詳細な映像を監視する位置に設定します。

■メニュー画面の流れ



■設定手順

1. ポジションヘッダー（全プリセットポジションの共通タイトル）設定



1. ポジションヘッダー表示の設定(☞48 ページ「ポジションヘッダー表示」項目)
2. ポジションヘッダー編集(☞50 ページ「ポジションヘッダーの設定」項目)
3. 番号表示種別の設定(☞48 ページ「番号表示種別」項目)
4. マルチポジション表示の設定(☞48 ページ「マルチポジション表示」項目)

2. ポジションの登録、および画角の設定 (☞52 ページ「プリセットポジションの登録」)

＜マルチポジション機能を使用のときのみ＞

全ての
プリセット
ポジション




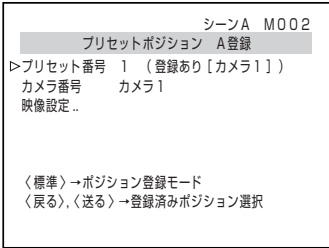
1. A ポジション、B ポジション、C ポジションの設定
※ A ポジションが設定されていない場合、B、C ポジションを設定することは出来ません。
2. プリセット番号の設定
3. カメラ番号の選択
4. 各ポジションの画角設定
5. 必要に応じて、各ポジションの映像設定(接続カメラの種類によってメニューが異なります。)

メモ

- カメラの機種によっては、ポジションヘッダーが表示されません。
- プリセットシーケンスの開始番号と終了番号を設定することができます。(☞38 ページ「モニター 1 の出力設定」)
- プリセットポジションで、画角の設定ができるのは通信制御カメラのみです。非通信制御カメラはポジション登録はできますが、画角の設定はできません。

プリセットポジション設定 (つづき)

●は工場出荷時の値です。

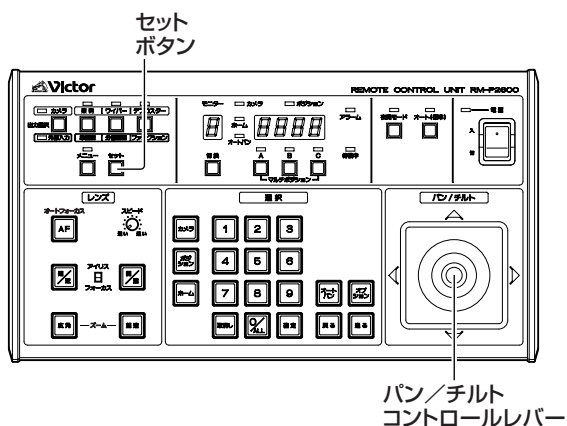
項 目	設 定 値	内 容
ポジションヘッダー表示設定		プリセットポジションのヘッダー表示設定をおこないます。ポジションヘッダー表示は全プリセットポジション共通のタイトルです。
ポジションヘッダー表示	あり ●なし	ポジションヘッダーを表示するかどうかの設定をおこないます。
ポジションヘッダー編集		<p>表示するタイトルを編集します。 タイトル文字数は最大 8 文字です。 (50 ページ「ポジションヘッダーの設定」)</p> <p>■ポジションヘッダー編集画面</p> 
番号表示種別	番台 PO- NO. ●番号のみ	<p>表示するプリセットポジション番号に付ける文字の設定をおこないます。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 番台は後ろ、PO -, NO. は前に付きます。 <p>(例) 77 番台 PO - 77, NO.77</p>
マルチポジション表示	●なし あり(前) あり(後)	<p>ポジションタイトルにマルチポジション表記(AorBorC)をするかどうかの設定をおこないます。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> なし : (例) 77 番台 あり(前) : (例) A77 番台 あり(後) : (例) 77 番台 A
登録	●A ポジション B ポジション C ポジション	<p>登録するマルチポジションを設定します。マルチポジション機能を使わない場合は、全て A ポジションに設定します。 B と C ポジションは、A に同じポジション番号が設定されている場合のみ登録することができます。 登録方法は、52 ページ「プリセットポジションの登録」 (20 ページ「マルチポジションの選択」)</p> <p>■プリセットポジション登録画面</p> 

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
登録(つづき)		登録するプリセットポジション番号の選択をします。
プリセット番号	●1 } 300	ポジション登録するプリセットポジション番号を選択します。 B, Cで登録できるプリセット番号は、Aポジションで登録されたプリセット番号のみです。 [デンキー] ボタン、[戻る]、[送る] ボタンで設定可能。
<div> <p>本メニューを起動したときのプリセット番号表示はポジション登録内容により、以下のように異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 未登録時－「1」を表示。 再登録時－登録されている最も若いプリセット番号を表示 </div>		
カメラ番号	●カメラ1 カメラ2 カメラ3 カメラ4 カメラ5 カメラ6 カメラ7 カメラ8 カメラ9	ポジション登録するカメラ番号を選択します。
映像設定		接続カメラのカメラ側メニューを表示します。 メニュー画面は、カメラによって異なります。 詳細は接続カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
<div> <p>プリセット番号の登録がされていない場合、本メニューは表示されません。</p> </div>		
クリア	●全て(A,B,C) Bポジションのみ Cポジションのみ	登録されたプリセットポジションのデータを、プリセット番号単位で消去します。 クリアされたポジションは、ポジション選択することができません。 クリア動作はA,B,C全て、Bポジションのみ、Cポジションのみ、の単位でこなうことができます。 ■プリセットポジションクリア画面 <div> <div>シーンA M002</div> <div>プリセットポジション クリア</div> <div>▷プリセット番号 1 全て(A, B, C)</div> <div> 〈確定〉→ポジションクリア 〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択 </div> </div>

プリセットポジション設定 (つづき)

ポジションヘッダーの設定 (ポジションタイトルをつけます)



メモ

- ポジションヘッダー表示設定画面で、ポジションヘッダー表示項目を“あり”に設定しないと、ポジションヘッダーは表示されません。

メモ

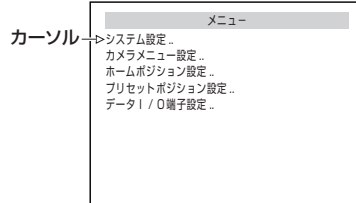
- カメラを追加したり、入れ換えた場合、必ず一度ポジションタイトル設定画面(手順 3.)を表示させてください。カテゴリータイトルが正しく表示されない場合があります。

■ポジションを選択し、タイトル編集画面を表示させる

1. メニュー画面を起動させる

(30ページ)

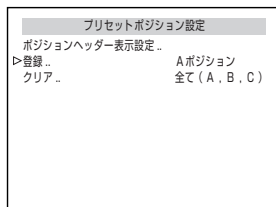
- モニターに通常メニュー画面が表示されます。



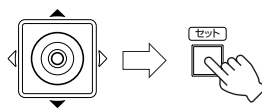
[通常メニュー画面]

2. プリセットポジション設定項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◆)で上下に移動させ、プリセットポジション設定項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- プリセットポジション設定画面が表示されます。

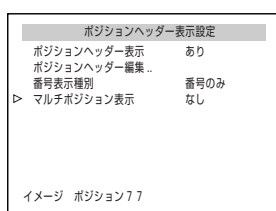


[プリセットポジション設定画面]

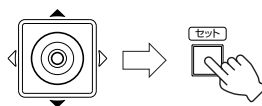


3. ポジションヘッダー設定項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◆)で上下に移動させ、ポジションヘッダー表示設定項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- ポジションヘッダー表示設定画面が表示されます。

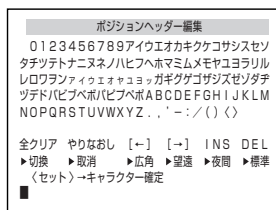


[ポジションタイトル設定画面]

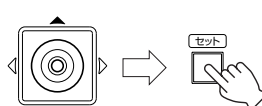


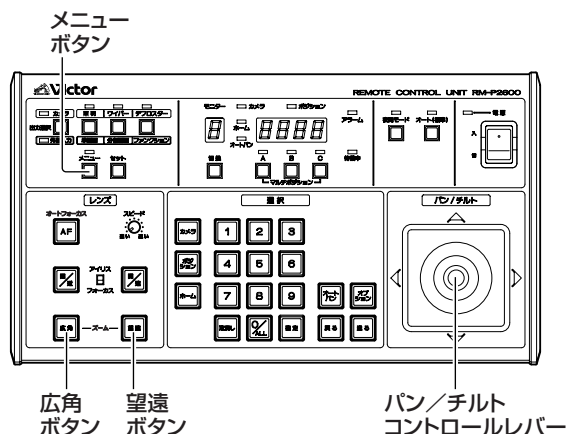
4. ポジションヘッダー編集項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◆)で上下に移動させ、ポジションヘッダー編集項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- ポジションヘッダー編集画面が表示されます。



[ポジションヘッダー編集画面]

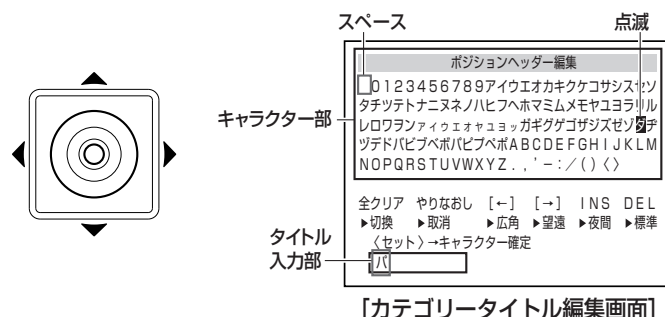




■ ポジションヘッダーの編集をおこなう

5. 文字を選択する

- ・ [パン/チルト] コントロールレバー(◀)(▶)で選択します。
- ・ キャラクター部で選択した文字は点滅します。



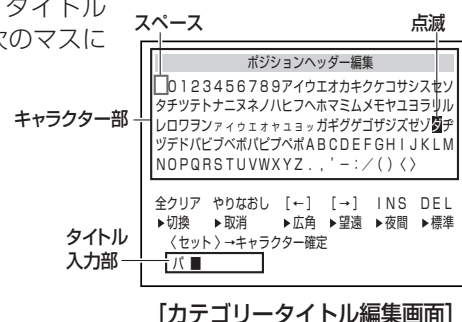
【カテゴリータイトル編集画面】

メモ

操作方法	内容
"全クリア" 選択 + [セット] ボタン	入力された文字全て消去 (編集文字が全て消され、カーソル位置は先頭に戻ります。)
"やりなおし" 選択 + [セット] ボタン	入力した内容を全てキャンセル (カーソル位置は先頭に戻ります。)
"[←]" 選択 + [セット] ボタン	カーソル位置をひとつ左へ移動
"[→]" 選択 + [セット] ボタン	カーソル位置をひとつ右へ移動
"INS" 選択 + [セット] ボタン	カーソル位置にスペースを入れる
"DEL" 選択 + [セット] ボタン	カーソル位置の文字を消去

6. [セット]を押す

- ・ 選択した文字がタイトル表示部に表示され、タイトル入力部の"■"が次のマスに移動します。



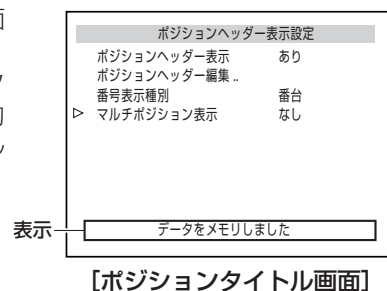
【カテゴリータイトル編集画面】

7. 上記手順の5. 6.を繰り返す

- ・ タイトルは8文字まで入力できます。

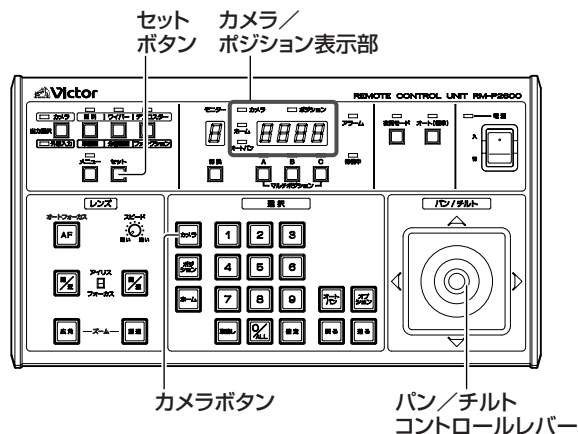
8. [メニュー]を押す

- ・ ポジションタイトル画面に戻ります。
- ・ 画面下の部分に「データをメモリしました」と約3秒間表示されタイトルがメモリされます。



プリセットポジション設定 (つづき)

プリセットポジションの登録



メモ

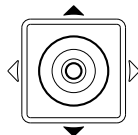
マルチポジションとは

- 1つのポジションに対して、1台のカメラのみで撮影すると、死角ができてしまう場合があります。マルチポジションを設定することにより、最大3台のカメラで1つのポジションを別々の角度から撮影し、死角をなくすることができます。

20 ページ「マルチポジションの選択」

1. プリセットポジション設定画面の、登録項目を選択する

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で、上下に移動させ、で登録を選択します。



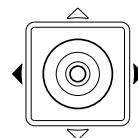
カーソル

プリセットポジション設定
ポジションヘッダー表示設定..
登録..
クリア..
Aポジション
全て(A, B, C)

[プリセットポジション設定画面]

2. マルチポジションを設定する

- [パン/チルト] コントロールレバー(◀▶)を左右に動かし、Aポジション、Bポジション、Cポジションの設定をします。



カーソル

プリセットポジション設定
ポジションヘッダー表示設定..
登録..
クリア..
Aポジション
全て(A, B, C)

[プリセットポジション設定画面]

3. [セット]を押す

- プリセットポジション登録画面が表示されます。

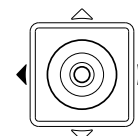


シーンA M002
プリセットポジション A登録
プリセット番号 1 (登録あり【カメラ1】)
カメラ番号 カメラ1
映像設定..
〈標準〉→ポジション登録モード
〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択

[プリセットポジション登録画面]

4. [カメラ番号]を選択する

- [パン/チルト] コントロールレバー(◀▶)を左右に動かし、設定したいカメラを選びます。
- カメラが切り換わり、映像も選択されているカメラの映像に切り換わります。
- [カメラ/ポジション表示部]のカメラ表示灯が点灯します。



- [テンキー] ボタンでも、上記と同様に「カメラ番号」を選択することができます。[テンキー] ボタンで「カメラ番号」を入力して、[確定] ボタンを押します。

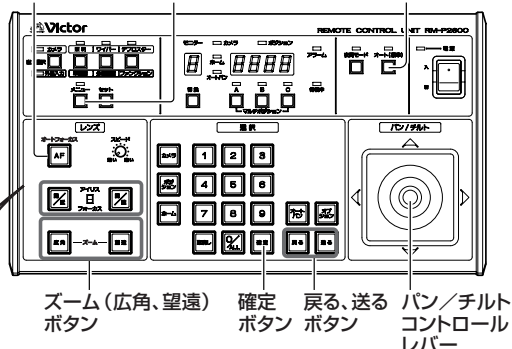
シーンA M002
プリセットポジション A登録
プリセット番号 1 (登録あり【カメラ1】)
カメラ番号 カメラ1
映像設定..
〈標準〉→ポジション登録モード
〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択

[プリセットポジション登録画面]

メモ

- 設定は「カメラ番号」でおこないます。「カメラ番号」はSW-2600 背面部[CAMERA INPUT]端子の番号に対応しています。

オートフォーカス (AF) ボタン メニューボタン オート(標準) ボタン



メモ

- [アイリス(開)(閉)/フォーカス(近)(遠)] ボタンを使用する場合、[アイリス/フォーカス] 切換スイッチを画角設定したい方にあわせてから設定してください。

メモ

- 1 台のカメラにつき設定できるプリセットポジションのポジション数は異なります。それ以上のポジションを登録しようとすると「全てのメモリーが登録済みです。他のカメラを選んでください。」と表示され **3.** のプリセットポジション登録画面に戻ります。
- [メニュー] ボタンを押すと、上位メニュー画面に戻ります。
- マルチポジションのBポジションを登録したい場合、Aポジションを全て登録し終わってから手順 **2.** に戻り、登録項目をBポジションに変更してから同様にプリセットポジション登録をおこないます。(C ポジションも同様)
- [パン/チルト] 操作をしながら [確定] ボタンを押すと、「範囲外のポジション(チルト)」を表示されることがあります。この表示があった場合、プリセットポジションが登録されないのので、[パン/チルト] 操作を停止してから再度 [確定] ボタンを押し、ポジション登録してください。

5. [オート(標準)]を押す

- ポジション登録画面が表示され、ポジション登録モードになります。
- [オート(標準)] 表示灯が点灯します。
- [カメラ/ポジション表示部] のポジション表示灯が点灯します。



シーンA M002	
ポジション A登録	
プリセット番号	1 (登録あり [カメラ1])
カメラ番号	カメラ1
映像設定	
<標準> → メニューモード <確定> → 次のプリセット番号 <戻る>, <送る> → 登録済みポジション選択	

【ポジション登録モード画面】

6. 画角を設定する

- [パン/チルト] コントロールレバー、[ズーム(広角)(望遠)] ボタン、[オートフォーカス(AF)] ボタン、[アイリス(閉)(開)/フォーカス(近)(遠)] ボタンでプリセットポジションの画角を設定します。
- ピントは[オートフォーカス(A F)] ボタンであわせませす。あわない場合にフォーカスボタンで調整してください。

- [パン/チルト]: カメラの位置
- [オートフォーカス(AF)]: ピントの自動調節
- [アイリス(閉)(開)/フォーカス(近)(遠)]: 映像のピント、明るさ
- [ズーム(広角)(望遠)]: 画像サイズ

※TK-S850の場合は、ズームのみの設定になります。

7. [確定]を押し、プリセットポジションを登録する

- 画面に「データをメモリーしています」と表示され、プリセットポジションが登録されます。
- 「プリセット番号」が次の番号に切り換わります。



シーンA M002	
ポジション A登録	
プリセット番号	1 (登録あり [カメラ1])
カメラ番号	カメラ1
映像設定	
<標準> → メニューモード <確定> → 次のプリセット番号 <戻る>, <送る> → 登録済みポジション選択	
データをメモリーしています	

表示

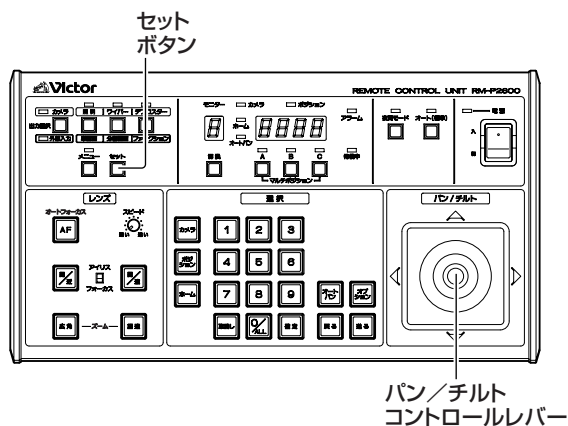
【ポジション登録モード画面】

- [戻る]、[送る] ボタンでも上記と同様にプリセットポジションを設定することができます。
- [標準] ボタンを押した場合もポジションが登録されますが、この場合は、ポジションが登録されたあと、**3.** のプリセットポジション登録画面に戻ります。

8. 手順 6. 7. を繰り返し、必要なプリセットポジションを登録する

プリセットポジション設定 (つづき)

プリセットポジションの登録 (つづき)

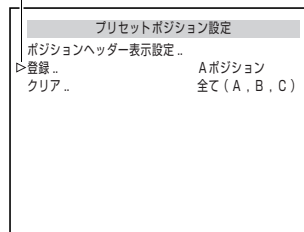


■ 映像設定をおこなう

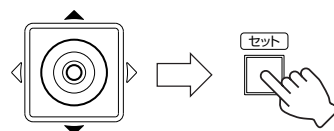
1. プリセットポジション設定画面で登録項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、登録項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- プリセットポジション登録画面が表示されます。

カーソル



[プリセットポジション設定画面]



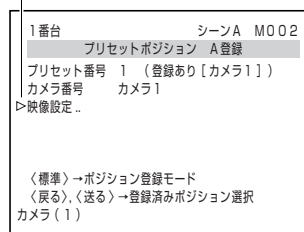
メモ

- 接続カメラの種類によって、メニューが異なります。詳しくは、カメラの「取扱説明書」をご覧ください。また、カメラメニューのないカメラを使用している場合、画面に「このカメラはメニューをサポートしていません」と表示されます。
- プリセット番号が1つも登録されていない場合、画面に「このプリセット番号は登録されていません」と表示されます。

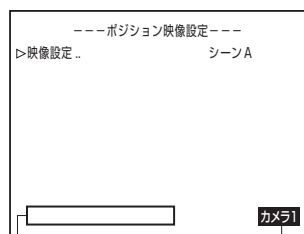
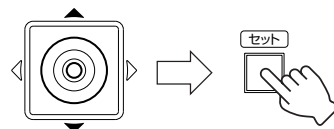
2. 映像設定項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、映像設定項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- カメラ側のメニューが呼び出され、ポジション映像設定画面が表示されます。(カメラ側のメニューは黄色文字で表示されます)
- 画面左下に「カメラ1」(カメラ1の場合)が点滅表示されます。

カーソル



[プリセットポジション登録画面]

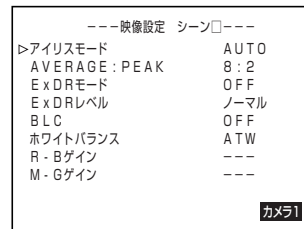


[プリセットポジション映像設定画面]

3. 設定をおこなう

- 必要に応じて細かい映像設定をおこないます。

(例) TK-S576B の場合



[映像設定画面]

データI/O端子設定

端子 A 設定


●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
端子 A アラーム入力設定		SW-2600 背面 [ALARM IN A] 1 ～ 9] の各端子の入力設定をおこないます。
A 1 ～ A 9		<p>■データI/O端子 A アラーム設定画面</p> <div> <div> <p>データI/O端子A アラーム入力設定</p> <p>【端子番号】 【入力信号 / ポジション / タイトル】</p> <p>▶ A1 .. (メイク P-001 表示あり)</p> <p>A2 .. (メイク ホーム03 表示あり)</p> <p>A3 .. (メイク P-296 表示なし)</p> <p>A4 .. (メイク P-002 表示なし)</p> <p>A5 .. (メイク P-300 表示あり)</p> <p>A6 .. (メイク P-299 表示あり)</p> <p>A7 .. (メイク P-298 表示あり)</p> <p>A8 .. (メイク P-297 表示あり)</p> <p>A9 .. (メイク P-296 表示あり)</p> </div> <div> <p>データI/O端子A1 アラーム入力設定</p> <p>入力信号 メイク</p> <p>▶ ポジション選択 ホームポジション</p> <p>ホームポジションカメラ番号 カメラ1</p> <p>プリセット番号 ---</p> <p>アラームタイトル表示 A</p> <p>〈戻る〉、〈送る〉→端子選択</p> </div> </div> <p>端子番号を選択し[セット]ボタンを押す</p> <p>入力信号が“無効”に設定されている場合、全ての項目で「---」が表示され選択できません。</p>
入力信号	●無効 メイク ブレイク	<p>アラーム入力信号の極性を設定します。</p> <p>無効 : アラーム信号を入力しても、アラーム状態になりません。</p> <p>メイク : 各アラーム入力端子と GND 端子の接点がオープンからクローズになったときアラームが入ります。</p> <p>ブレイク : 各アラーム入力端子と GND 端子の接点がクローズがオープンになったときアラームが入ります。</p>
ポジション 選択	●ホームポジション プリセットポジション	<p>アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。</p> <p>ホームポジション : アラーム信号の入力があった場合、ホームポジションの映像を出力します。</p> <p>プリセットポジション : アラーム信号の入力があった場合、プリセットポジションの映像を出力します。</p>
ホームポジション カメラ番号	●カメラ1 } カメラ9	<p>アラーム入力時に、映像を切り換えるカメラの番号を設定します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ポジション選択が「プリセットポジション」に設定されている場合、「---」が表示され選択できません。
プリセット番号	●1 } 300	<p>アラーム入力時に、映像を切り換えるプリセットポジションの番号を設定する。[セット] ボタンを押すと、選択されたプリセットポジションの映像を見ることができます。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ポジション選択が「ホームポジション」に設定されている場合、「---」が表示され選択できません。 <p>設定されている一番若いプリセットポジション番号が表示されます。</p>
アラームタイトル 表示	●なし アラーム ALARM A トラブル ドアオープン ケイホウ 呼出 異常発生 センサー シンニュー カメラ編集1 } カメラ編集10	<p>アラーム入力時に、カメラが表示するタイトルを設定します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カメラタイプ／標準状態設定画面」で「通信制御カメラ」に設定されているカメラのみ有効です。それ以外のカメラの場合は設定しても表示されません。

データI/O端子設定

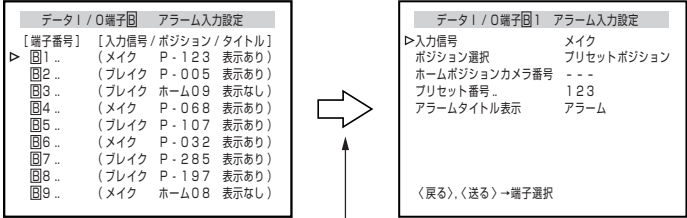
端子 [B] 設定

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
端子 [B] 入力設定	モニター1セレクト出力 ●アラーム出力 アラーム入力	SW-2600 背面 [ALARM IN [B] / ALARM OUT 1 ~ 9 / SELECT OUT 1 ~ 9] 端子の設定をおこないます。 モニター1セレクト出力 : モニター1で選択されたカメラ番号に対応して信号を出力します。 アラーム出力 : アラーム状態となったカメラ番号に対応して信号を出力します。複数のアラームの場合、複数の出力をします。 アラーム入力 : アラーム信号の入力端子となります。 ( 56 ページ「端子 [B] アラーム入力設定」)

端子 [B] アラーム入力設定

●は工場出荷時の値です。

項 目	設 定 値	内 容
端子 [B] アラーム入力設定		SW-2600 背面 [ALARM IN [B] 1 ~ 9] の各端子の入力設定をおこないます。
[B] 1 ~ [B] 9		<div>■データI/O端子 [B] アラーム設定画面</div> <div></div> <p>端子番号を選択し[セット]ボタンを押す</p>

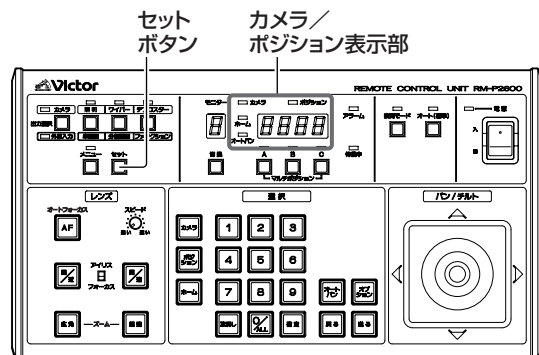
設定時のメッセージ表示について

操作内容によって次のようなメッセージが表示されます。

設定時のメッセージ表示	内 容
パスワードが正しくありません	・パスワードが正しく入力されなかった場合に表示されます。再度パスワードを入力してください。
全ての端子を接続なしに設定できません	・カメラタイプ／標準状態設定にて、 SW-2600 の全てのカメラタイプを“接続なし”に設定した場合に表示されます。（この場合、カメラ1が強制的に“非通信制御カメラ”に設定されます）
全てのカメラを表示なしには設定できません！ <セット>→ モニター*表示カメラ／オートシーケンス設定 (*：2、3)	・モニター2、モニター3 表示カメラ／オートシーケンス設定にて、全ての表示カメラを“なし”に設定した場合に表示されます。
設定可能なカメラがありません (メニューボタンで戻ります)	・カメラメニュー設定およびホームポジション設定画面を起動したとき、通信制御カメラが1台も設定されていなかった場合に表示されます。 ・プリセットポジション登録にて、マルチポジション登録可能なカメラ（通信制御カメラおよび非通信制御カメラ）が1台のシステムでマルチポジション（A,B,C）を登録しようとした場合に表示されます。
同じカメラをマルチポジション登録することはできません	・プリセットポジション登録で、1つのポジションに対して同じカメラでマルチポジション（A,B,C）を登録しようとした場合に表示されます。（表示後、プリセットポジション登録画面に戻ります）
全てのメモリーが登録済です。他のカメラを選んでください。	・通信制御カメラ1台に登録可能ポジション数※以上のプリセットポジションを登録しようとした場合に表示されます。 ※ TK-S576B : 255ポジション TK-S655 : 63ポジション TK-S850 : 2ポジション
A ポジションの設定を行ってください	・プリセットポジション登録で、A ポジション登録をしていないポジションに対して、B またはC ポジションの登録をしようとした場合に表示されます。
カメラ(*)の変更によりプリセットは無効です！ クリアもしくは他のカメラで登録してください。 *：カメラ1～カメラ16	・カメラ設定の変更等により、既存のプリセット番号が無効になっているとき、プリセットポジション登録画面を起動した場合に表示されます。
このカメラはメニューをサポートしてません	・プリセットポジション登録の映像設定にて、選択したポジションの登録カメラが、非通信制御カメラである場合に表示されます。
ポジションをクリアしました	・プリセットポジションのクリアを実行した場合に表示されます。
登録されているポジションはありません (メニューキーで戻ります)	・プリセットポジションのクリアを実行した結果、登録されているプリセットポジションがひとつもなくなった場合に表示されます。

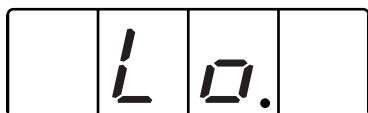
キーロック（誤操作防止）

誤操作防止のため、パネル上の全てのボタン、パン／チルトコントロールレバー操作をできなくするキーロック(誤操作防止)状態にすることができます。



メモ

- キーロック状態のとき、何かのボタンを押したり、操作しようするとカメラ／ポジション表示部に約2秒間「Lo.」と表示され、操作できません。
- メニュー操作中はキーロック状態にすることはできません。



■ キーロック（誤操作防止）状態にする

[セット]を5秒以内に10回押す



- キーロック(誤操作防止)状態となり、全ての操作は無効となります。

■ 解除する

もう一度[セット]を5秒以内に10回押す

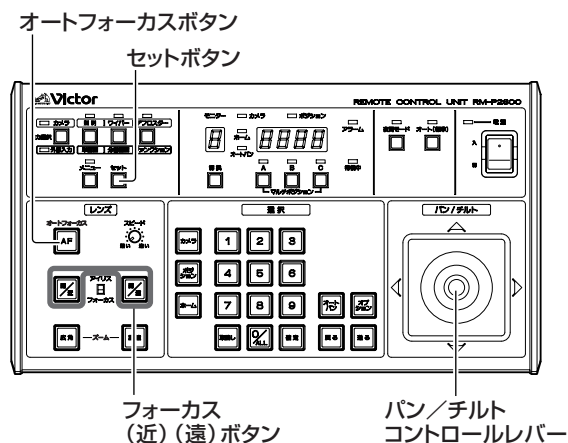


- カメラ／ポジション表示部に「U Lo.」と表示され、キーロック状態が解除されます。

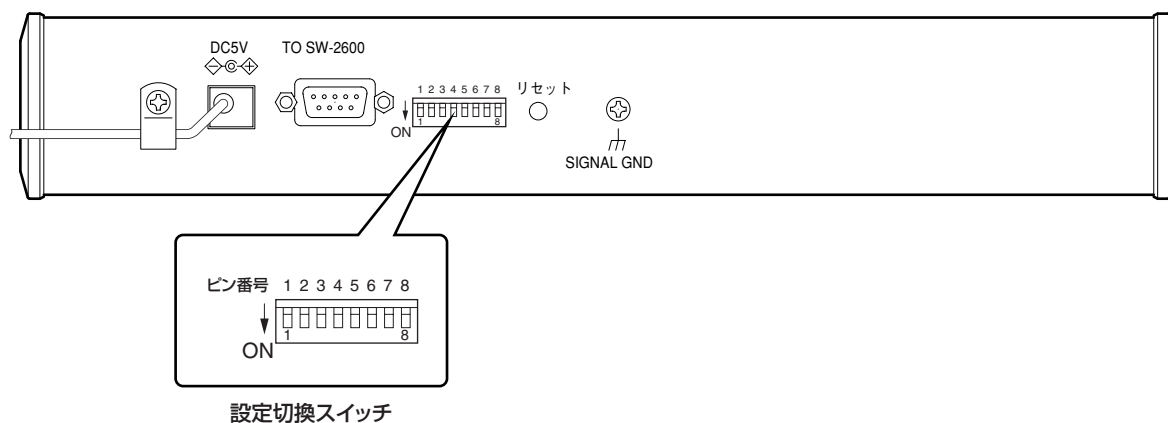


設定切換スイッチ

機能の設定(初期設定)を一部切り換える事ができます。
工場出荷時は全てのスイッチは OFF に設定されています。



■ リアパネル



※設定切換スイッチの設定は必ず電源が“OFF”の状態でおこなってください。

ピン番号	機 能	OFF (上)	ON (下)
1	サービス用です。切り換えしないでください。※		
2	オートフォーカス機能をするボタンを設定します。	オートフォーカス(AF)ボタン	オートフォーカス(AF)ボタン、フォーカスボタン(近)(遠)ボタン同時押し
3	設定切換スイッチ 3、4 で、パン/チルトコントロールレバーの動作スピード段階を切り換えます	3 : OFF 4 : OFF 8 段階	
		3 : OFF 4 : ON 5 段階	
4		3 : ON 4 : OFF 4 段階(全体的に速めの設定です)	
		3 : ON 4 : ON 4 段階(全体的に遅めの設定です)	
5	サービス用です。切り換えしないでください。※		
6	ブザー音量の大、小を切り換えます。	大	小
7	サービス用です。切り換えしないでください。※		
8	通信規格の設定をします。 SW-2600 の[TO RM-P2600③]端子に本機を接続する場合、必ず ON に設定してください。	RS-422A	RS-232C

※1、5、7は必ず設定を“OFF”にして使用してください。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • コンビネーションカメラに AC24V 電源が接続されていますか？ • カメラタイプは正しく設定されていますか？ • SW-2600 とモニターは正しく接続されていますか？ 	カメラの「取扱説明書」 SW-2600 「取扱説明書」 SW-2600 「取扱説明書」
カメラがイニシャライズ (初期設定動作)しない	<ul style="list-style-type: none"> • 使用可能なカメラヘッドを接続していますか？ 	—
カメラがイニシャライズ後、勝手な方向を向いてしまう	<ul style="list-style-type: none"> • ホームポジションは登録されていますか？ 	43ページ
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラと SW-2600 が正しく接続されていますか？ • カメラ本体の設定は正しくおこなわれていますか？ • カメラタイプ / 標準状態設定は正しくおこなわれていますか？ 電源を切り、表示されているカメラをはずしてから設定を確認してください。 • 本機と SW-2600 の接続は正しくおこなわれていますか？ SW-2600 を複数台使用するシステムの場合、モニターが接続できるのは 1 台の SW-2600 のみです。 • モニター選択は正しくおこなわれていますか？本機で操作できるのは、モニター表示部に表示されたモニター番号のみです。 • キーロック(誤動作防止)状態になっていませんか？操作時に“Lo.”と表示されたらキーロック(key lock)状態です。解除してください。 • シリアル②、シリアル③の「接続機器」が“リモコン”に設定されていますか？(リモコン2、リモコン3を接続する場合) 	カメラの「取扱説明書」 カメラの「取扱説明書」 34ページ SW-2600 「取扱説明書」 21ページ 58ページ 40、41ページ
画面に“カデンリュウ”を検出しました！ 接続されているカメラと設定を確認してください。 カメラ番号：と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • カメラタイプ / 標準状態設定は正しくおこなわれていますか？ 電源を切り、表示されているカメラをはずしてから設定を確認してください。 	34ページ
[カメラ]ボタンでカメラが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> • オート(標準)ボタンが押されていませんか？オート(標準)ボタンを押し、消灯してからカメラを選択してください。 • モニター2、モニター3の場合、「表示カメラ/オートシーケンス設定」が“なし”に設定されていませんか？ 	16ページ 39ページ
ポジションが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> • オート(標準)ボタンが押されていませんか？オート(標準)ボタンを押し、消灯してからカメラを選択してください。 • ポジション登録はおこなわれていますか？ 	17ページ 46ページ

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
パン/チルトした時カメラの動きが遅い	<ul style="list-style-type: none"> パン/チルスピードが“遅い”に設定されていませんか？ 	59ページ
オートシーケンスボタンを押しても、オートシーケンスできない	<ul style="list-style-type: none"> モニター出力は「オートシーケンス設定」が“あり”に設定されていますか？ 「シーケンスタイプ」が“プリセットシーケンス”に設定されていませんか？ モニター2、モニター3出力は「表示カメラ/オートシーケンス設定」が“オートシーケンス”に設定されていますか？ 	38ページ 38ページ 39ページ
フレームスイッチャーの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> フレームスイッチャーのRS-232C端子がSW-2600の[AUX INPUT]端子に接続されていますか？ システム設定メニューで接続機器設定のシリアル③がSW-F510に設定されていますか？ “外部入力”が選択されていますか？ SW-F510のメニュー設定が正しく設定されていますか？ 	SW-2600「取扱説明書」 41ページ 25ページ 25ページ
アラームが入っても映像が切り換わらない (アラーム優先モードの場合)	<ul style="list-style-type: none"> モニター2、モニター3では「アラーム映像出力」が“表示”になっていますか？ プリセットポジションは登録されていますか？ 	39ページ 46ページ

上記処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店または業務機器ビクターサービス窓口にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。
なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧ください。のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

- 機種名: RM-P2600
- 故障の状態をできるだけ詳しく:
- ご購入年月日
- ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

通信方式：RS-422Aまたは、RS-232C規格準拠、全二重通信方式によりSW-2600と通信

電源電圧 : DC 5 V

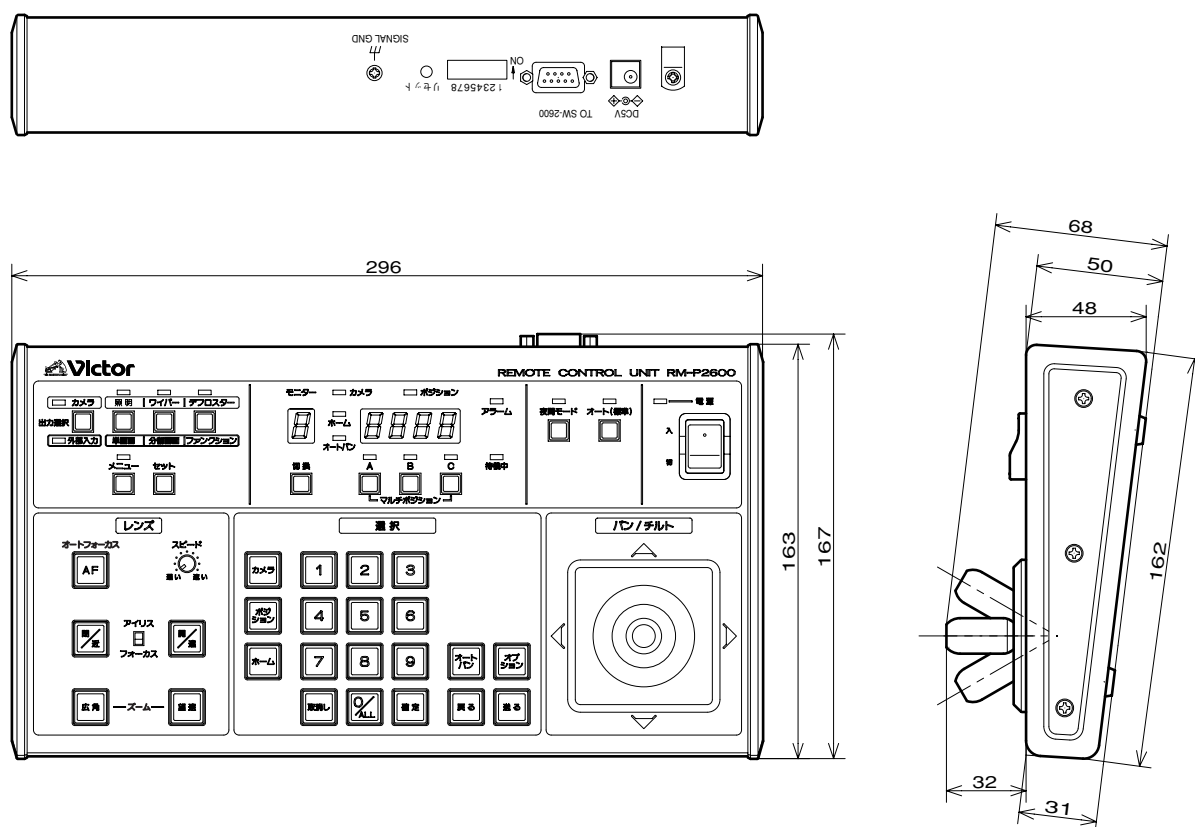
消費電力 : 300 mA

周囲温度：-10℃～50℃(動作)

: 0℃~40℃(推奨)

質量 : 1.3 kg

■ 外形寸法 (単位: mm)



※本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203